

関東氷上郷友会

昭和四十八年三月 第4号

山
々
々



燕子花

文通
庵



渡辺紙工業株式会社

取締役会長 渡辺泰造 取締役社長 渡辺金三

本 社 大阪市城東区蒲生町 5 丁目53番地

本社事務所 大阪市北区芝田町112番地<北梅田ビル>

Tel 372-6814 (代)

東京支店 工場 東京都足立区中央本町 5 丁目22番12号

Tel 887-6711 (代)

東京支店営業所 東京都台東区柳橋 2 丁目15番 4 号<関根ビル>

Tel 861-2331 (代)

名古屋支店工場 名古屋市西区又徳町 3 丁目13番地

Tel 521-8111 (代)

大阪支店 工場 大阪市城東区蒲生町 5 丁目53番地

Tel 939-1281 (代)

九州支店 工場 福岡市堅粕日ノ出町 4 丁目 1 番地

Tel 41-4237 (代)



渡辺製袋株式会社

取締役会長 渡辺泰造 取締役社長 渡辺金三

本 社 大阪市城東区蒲生町 5 丁目53番地

東京支店 東京都台東区柳橋 2 丁目15番 4 号<関根ビル>

Tel (861) 2 3 3 1 (代)

大阪支店 大阪市城東区蒲生町 5 丁目53番地

Tel (939) 1 2 8 1 (代)

藤岡工場 栃木県下都賀郡藤岡町内町4938番地

Tel (028262) 3 3 2 1 (代)

兵庫工場 兵庫県加古郡稲美町蛸草1438-1 番地

Tel (0794291) 257, 401

煤煙と騒音と愛の不毛の街から

トンネルを抜け

鉄橋をわたり

山裾をまわり

だんだん畑をつゝ走り

ふるびた駅におり立つ

空はあくまで蒼く

山なみはみどり濃く

小川のせせらぎは清冽

そこに住む人びとはしあわせ

祖先のみたま眠るわがふるさと

(竹)



丹波開発の新構想—新学園都市—	有田喜一	4
新しい展望と活気—丹波の近況—	細見清次	6
丹波の文化遺産	松山幸逸	8
丹波の心—魅力ある郷友会に—	足立三治	9
随感・随想		
ニューヨークの桜	西川政一	10
ミュンヘン再訪	萩野定一郎	12
ふるさとの想い出	渡辺金三	14
長寿のふるさと	池田種生	15
思い出の中のふるさと	木村つた江	16
自然の中で	常岡幹彦	18
欲ばりな私の近況	音無太美子	18
今年も祝福を	佐藤菊子	19
特攻の思想—大西瀧治郎伝を読んで—	足立正	20
短歌Ⅱ母を偲んで	秋元多美子	21
短歌Ⅱお盆の墓詣り	野村千里	22
俳句Ⅱ古稀自祝	植村章子	23

総合建築

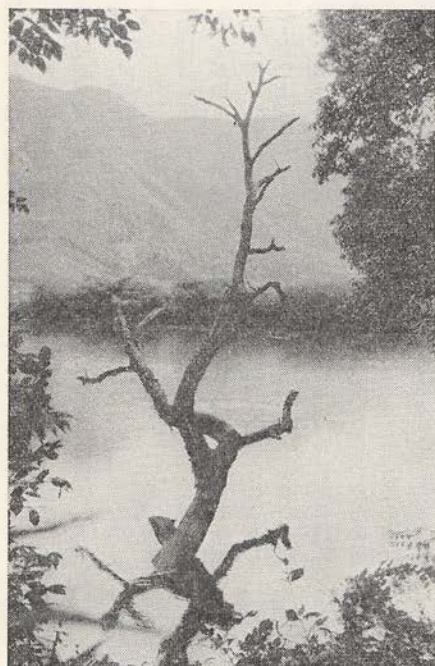
設計  施工

株式会社 長富工務店

代表取締役 長富千代一（大路西出身）

本社 東京都荒川区南千住5-9-8 電話(802)3721~4番
 東京支店 東京都足立区青井町2-24-7 電話(840)4484~7番
 船橋支店 船橋市海神3-16-1 電話(0474)(31)7178(代)

年会費増額（総会）	24
新春初の役員会	25
恒例春の懇親会	25
有田大臣祝賀会	26
有田氏当選	27
常岡画伯個展	27
木下画伯個展	28
同好会ニュース 碁・ゴルフ	28
お便り	30
訃報、転勤、住所変更	34
郷友会沿革、会則	35
本会役員	36
会費報告	36
会計報告	38
関東氷上郷友会会員名簿	39
あとがき	72
写真Ⅱ 山南町・川代の桜（扉）／黒井・兵主神社の池（目次下） ／すすき／盆おどり／彼岸花／石縁寺句碑……丹波新聞社提供	



図書出版

株式会社 二玄社

書跡名品叢刊全200巻ほか
書道図書、東洋美術図書、
書画名品の複製／月刊雑誌CAR GRAPHIC
ほか自動車関係図書／その他一般の書籍も少々出版しております。どうぞお見知りおきください。
代表取締役社長 渡辺隆男
氷上町朝坂の出身です。

千代田区神田神保町2-42
Tel: 263-6051～6054番

丹波を学園都市へ

——総合開発推進協議会へ提案——

有 田 喜

みなさんのご支援を得て、私も国会議員に当選九回、在職年数も二十年以上になった。一回の失敗があったが、最初当選させてもらった当時の丹波と、今日の丹波とは見違えるほどに変わってきている。

その当時丹波からの初陳情は「朝、神戸や大阪へ電話をかけても、相手が出てくるのは夕方である。なんとか大阪、神戸への電話回線を増加して、せめて半日位で通話ができるようにしてくれ」との要請であった。それが今日、即時で全国いたるところと通話ができるようになった。氷上郡は既に全町自動化され、多紀郡では一部まだ残っている町があるが、これらはそのうちに自動化される見通しがついている。かわればかわるものだ。また、道路をみても、ほとんどが舗装化され、工場もだんだん増えつつある。しかし世の中はもっともっと目ざましい急テンポで進歩発展している。今の程度の丹波では何時までたっても後進地域とされるであらう。せっかく山陰新幹線ができるにしても、今の丹波では新幹線の駅をつくるためには大野伴睦さんが三人おってもまず不可能であらう。

そこでこの丹波地域は、一般の世間が進歩

発展しているそれ以上の飛躍的な開発発展を進めなければならない。私は二十数年間の通信省や運輸省での行政経験があるし、そのうえ丹波人としては、かつてない長い間の政治経験をさせてもらっている。特に文部大臣や科学技術庁長官、防衛庁長官、あるいは近くは経済企画庁長官等々の重職を歴任させてもらい、ことに経済企画庁長官として、日本経済を福祉の充実と国際協調の方向にカジをとり変えると同時に、我が国の諸般の開発問題とも取り組んだ。私はこれらの尊い経験を生かして、私のもてるすべてを捧げて丹波の抜本的な理想的開発を推進する決意をした。

そして去る二月十二日、丹波総合開発推進協議会（多紀、氷上両郡の各町長及び議長をもって組織する）に出席して別項のような丹波学園都市構想を発表した。これは全くの私案であり、いわば一つのたたき台に過ぎないのであって、これから各方面の要請を入れてその具現化をはかって行きたいと思う。ことにこの理想的な大構想の実現のためには地元丹波の人々の一致協力がなければならない。そして同時に国や県の協力を得て最終的には理想的な権威あるマスタープランが作られ、

国のナショナルプロジェクトとして取上げられなければならないと思う。近くその方面の権威者に御来丹願ひ、つづさに丹波の実情を見ていただくと同時に丹波の人々の意見をもとり入れて、その具体化を図っていきたい。

そしてこれを私の畢生の仕事として、後世の人々が丹波に生まれてよかったなあという理想郷を作りあげたいと思っている。

なお、この構想の具現化に当っては特に次の諸点に留意する必要があると思う。

その一は、無秩序な開発はさけなければならないということである。単に過密都市のオーバーフローを受け入れるという雑然とした都市作りであってはならない。丹波のもっている歴史的・自然的環境を充分に生かし、しかもそれらを我々の生活の中に組み入れることが必要である。

その二は住宅のあり方についての発想の転換である。今までの時代の趨勢をながめていくと従来は大都市大都市へと人口が集中し、その都市の真中に住宅があり、東京でいえば小田原とか御殿場とかいう近郊地にセカンドハウスを作るといのが一般の慣例であった

が、最近の交通・通信の著しい発展によってこれからの傾向は、生活の本拠が小田原、御殿場といった環境のよいところに生活の中心をおき、都会の中心にはマンションとかアパートとかをセカンドハウスとして、忙がしいときにそこに泊るというような傾向が見られる。丹波にもそういった意味で阪神方面で活動する人々の生活の中心となる地域があることを前提として見なおす必要がある。

その三は既存の町の特長を生かしながら、これを整備し環境との調和と農林業との協調の上に立った開発を推めなければならない。そうして生産的施設を誘致するに当っても公害のない工場：つまり環境型とか、智識集約型とかいわれる工場の誘致を第一に考えねばならない。

その四は土地問題である。開発に附随して必ず土地投機の問題が生じてくるのを防止しなければならない。大資本や大都会からの土地の買い漁りにはくれぐれも注意をする必要がある。

その五は阪神間から五〇キロから七〇キロの距離圏にあるという立地条件を生かし、しかも交通網の整備を図って丹波から阪神方面

に二〇分ないし三〇分で往けるほどの時間的距離に短縮しなければならない。そのためには人口二〇万から三〇万人ぐらいの学園都市とし、山陰新幹線が通っても停車させるところまで発展させたいということである。そうして福祉施設にしても、文教施設にしても兵庫県下では第一位のもの、全国でも有数のものを作らなければならない。

丹波学園都市が阪神間に追隨するのではなく、丹波の良さを存分に盛り込んだその施設を阪神間の人々も利用するという形こそ望ましい姿だと思ふのである。

その六は、丹波はあくまで一つという考え方に立たねばならぬということである。小さなセクト主義を離れて雄大な広域行政の上に立つことこそ、最も大切なことであると思ふ。(衆議院議員・前国務大臣企画庁長官)

提案の骨子——有田私案

一、この丹波を理想郷として開発発展させるため、丹波がもつ歴史的、自然的環境を生かし、しかもそれらをわれわれの生活の中

に組み入れながら、丹波は一つという構想のもと、緑と太陽の丹波学園都市を私たちの手で創ってみたい。

二、丹波学園都市構想の課題は

- (1) 丹波と阪神の時間的距離を大巾に縮めるため、国鉄福知山線の複線電化は勿論、近畿自動車横断道（舞鶴線）や山陰阪神有料道路等の高速道路を促進すると、将来は山陰新幹線丹波駅の建設によりさらに短縮しなければならない。
- (2) 大学、研究所、スポーツセンター、総合健康センター等の文教施設を誘致する。

- (3) 公害のない工場、（主として環境型）の誘致をすること。

- (4) 歴史と自然を享受するための丹波遊歩道を建設整備すること。

- (5) 農園住宅団地を建設すること。

- (6) 老人のため、生きがいのある総合福祉施設の建設をはかる。

- (7) 鐘ヶ坂に自然環境文化センター（仮称）をつくること、等。

三、これらの課題は環境との調和、農林業との協調が、いずれも重要であり、既存の町

を整備保存することが大切である。この丹波学園都市構想は、これからの国土総合開発にとっても、またこれからの環境、福祉を重視した新しい時代のモデルであり、その実現の姿である。

さらに兵庫県（大阪、京都を含めて）の過疎過密問題の解決の糸口として重大な役

新しい展望と活気

——丹波の近況について——

春日町長 細見清次

割を期待しなければならない。

この構想は長期展望の上に立たねばならず、何といっても丹波人の一致協力がその前提である。幸い地元のご協力、ご賛同を得るならば私は尊い政治経験を全面的に生かし、国と県に協力を求め、後世のためにも全力を捧げたい。

山々の紅葉に晩秋の美観を楽しんだのも東

の間、足早に訪れる冬將軍に、丹波もはや初雪が降り、気ぜわしい師走となって参りました。十一月に開催された関東郷友会には、郷

里の町民としてお招きをいただき、久方ぶりで在京の皆様とお会いしてご活躍の様子を拝見し、ほんとうに嬉しく存じました。本誌を

おかりして厚く御礼申し上げます。

さて今回本誌に丹波の近況を寄せるようご依頼を受けましたので、愚筆をも省みず筆をとった次第です。

十一月二十日から始まった衆議院議員総選挙も終わり、郷土選出有田喜一先生は、期待どおり九たびの当選を得られました。当第五

区は今回も小数精鋭候補者による激戦であり、先生は他候補の応援で当地にも帰れない不利な中で運動を進められましたが、引き続き再び国政に参加されることになり、まことに心強い限りです。何卒国家、郷土のため、今までにまさるご活躍をせつにお祈りいたします。またあのとき噂しておりました青垣町長選挙も予想通り平岩町長が三選され、私たち同僚の町長としても嬉しい次第です。

ご存知のように丹波は僻地の山村であり、終戦後の混乱が過ぎると、今度は高度の経済成長と人口の減少過疎で苦しみ、社会構造がめまぐるしく変動する中で、何とか豊かなふるさとの装いを守り続けてきました。しかし現在では昔の丹波とは異り、この悩みから脱却するための開発を進めるとともに、大きく造りかえようとする兆しがみえております。しかも最近の田中首相の列島改造計画とともにさらに新しい夢が加わったようです。

長年の懸案であった福知山線の複線電化もすでに篠山までの計画が立案され、また近畿自動車高速道や、太平洋日本海連絡道路など開発の基本構想もまとも、それとともに有名工場の進出が各地で噂され、新しい展望と

ともに活気がみえてくるようになりました。

しかしながら、そうした開発構想が語られるもう一つの側面として案じられることは、今まで長い間苦しんできた過疎と、立案の基本であった農業の斜陽化や農村産業の衰微とともに弾力性乏しい財政基盤や公共的施設の遅れなど、華々しい開発に対比したこれらのギャップを如何にバランスよく調整していくかということであります。さらに言うならば、人間社会における豊かな情緒や道徳の荒廃、人間性や民主主義を忘れた自我と権利のみを主張する傾向の強くなる世相を思うと、こうした開発のメカニズムだけでなく、人間教育の一段と重要なことをあらためて痛感いたします。

このような数々のひずみや不利な条件の中で、数多くの政治的課題を抱えながらも、何とかしてこの中から立ちあがり、少しでも豊かな生活の保障される町造りをしようと、どの町長も血みどろの頑張りを続けています。そして遠く他郷にある先輩や皆さん方に、たとえふるさとの風貌は変わっても、懐かしい思い出の中に愛され生き続ける郷土でありたいものと念願する次第です。

皆様が期待を寄せて下さる丹波は、徐々にではあっても確実に進展の方向へ変りつつあります。しかし郷に在れば却って郷の姿はわからないこともあり得ます。それだけに皆さん方の率直公正なご批判や、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。ご健康とご発展とを祈念してこの一文を結びます。

(七二・一一・一〇)

☆

丹波の文化遺産

松山 幸逸

(春日・東中)

奈良の明日香古墳や、松山の古照遺跡の発見のためばかりではないだろうが、このところ考古学ブームが全国的に広がっているようである。

さきごろ丹波の実兄（慶太郎）からの便りにも、

郡内でも古墳や史蹟、遺跡の研究熱が盛んになってきて、自分も春日町に出来た文化研究会に入会した。ときおり開かれる講演会や文化財見学の一行にも加わって、あちこち歩き廻って、結構楽しんでる。……とのことである。そしてその便りにはさら

に、郡内各地に開発の土木工事などが行なわれていて、そこからは思いがけない遺跡や古器物が掘り出されているという。何でも春日町の棚原地区からは、わずか地下五、六十センチのところから石剣がでたとか、市嶋町上田地区からは相当広大な寺跡らしい礎石が現われたとか、さらに柏原町誉田では、ハニワが出土して、古墳とわかり専門家に依頼して発掘調査を進めているとか、各地でこんな話題で賑わっているらしい。

私など考古学や歴史の知識がないから、ただただ驚くのほかないが、少年の頃、丹波の天の岩戸の伝説や、元伊勢の名称とか、四道將軍の話や、篠山在にある前方後円古墳を見学したことなどもあって、丹波地方には、奈良や京都などと地域的にも近接していたから、随分古代から王都の文化の影響を受けたと察せられるし、その時代の人物との交流も行なわれていたように思えるのである。

従って前記のような古墳や遺跡が発見されたとしても、あるいは必然かも知れないし、これらの調査や研究が進めば、古代丹波人の文化や生活様式なども解明されるかも知れない興味湧いてくる。古丹波焼などもその好

例といえよう。

それにしても、高度経済発展のおかげというか、ここ二十年ほどの間に丹波地方の生活様式、例えば農村生活などもどしどし変っていき、機動化していつて、スキ、クワ、織機などの民具なども姿を消す時代となりつつあるようである。ほんとうにあつという間に、私たちの祖父や父母などが常用していたものは殆んど散逸してしまつて、ときたま婦省しで見廻しても見つからないから、いざ探すとすると骨の折れることだろう。

ところで篠山には、友人の尚古堂主人中西通君が私財を投じてすばらしい古陶館を建てて、その中には六古窯の一つといわれる「古丹波焼」を始め、丹波地方の古美術工芸品などを陳列して、保存と保護にひと役買つてくれていて、その道の人々にはよく知られている。しかしこうした事業は、個人の努力だけでは容易な事ではないと思われるので、昨今の文化財ブームを機会に、同好者やしかるべき研究団体によって丹波地方一帯の文化遺産の調査や蒐集に拍車をかけるような運動が展開されんことを切望してやまない。



“丹波の心”

——魅力ある郷友会に——

会長 足立三治

七十年代三年めの春を迎え、関東氷上郷友会々員の皆様には益々ご健康裡にご活躍のことと拝察いたします。

度重なる激しいドルショックにもめげず、日本の経済は私たちの不安をよそにめざましい成長を遂げつつあります。しかし昨今の日本の社会においてももっと大切なことは、やはり人の心の交流の問題でありましょう。すべての問題に対して、機会ある毎に今少し対話による人間交流によって相互理解と信頼とを深めてゆかなければ、と望んでいるのは私一人ではないと思います。世界の人々に互してゆくためにも、もっと日本人としての自覚が要求されなければならないでしょう。

関東氷上郷友会々員の皆様には、なつかしいふるさとを出て、長く尊い体験を積み重ねて成功された方々や、地域社会に貢献されている方々や、また青雲の志を抱いて学び舎にある若い人々もありましよう。しかし、人さまさまに相違はあつても、『ふるさと』を通して常にもとめる共通の何かがあるのではないでしようか。一方、生活や企業を通して常に打ち出そうとする共通の何かがあるのではないでしようか。

その何かとは、他ならぬ『丹波の心』のように思います。丹波の心は、私たちの人生の灯火、生活の源泉のように思います。

大切な丹波の心のつどい、関東氷上郷友会をさらにさらに魅力ある会に盛りあげてゆくために、私も微力を致す所存ですが、一人でも多くの皆様のご協力をお願いいたします。

随感

随想

△一水漫筆▽

ニューヨークの桜
西川 政一
(市島・竹田)



日米間の国交風雲急を告げた昭和十六年、『交換船』でニューヨークを出発して、大西洋、インド洋などを迂回して帰国、横浜に到着するまで実に八十日余りかかったが、それまでの私の米国滞在は六年近くにもなっていた。その間、やもめ暮から家族の呼びよせ、その思いがけない別離、ほとんど男子ばかりの交換船での引揚げなど、良きにつけ悪しきにつけ、多彩にして目まぐるしい変化に今もってその思い出は尽きない。

小学校一年生だった次男は神戸市からベラムの小学校へ転校した。二、三日は環境の激変からであつたのだろうか、登校をしづつていたが、そこは子供のこと、一週間もたつともう喜び勇んで通学、やがて

はカタコトの英語(米語?)でケンカするまでにうちとけてきた。

かくて一年余り、すっかりニューヨークっ児になった頃、太平洋戦争の兆はいよいよ濃くなつてきた。その間、親しくしてもらつていた校長をはじめ、諸先生などとも、いよいよお別れしなければならぬことになつてきた。かずかずの在校中の厚意にたいする謝意を表するため、何か記念になるものと考え、校長とも相談の結果、桜の若木を送ることにした。たまたま運よくロングアイランドで入手することができた。学校側もこのことをいたく喜んでくれ、全校あげての盛大な植樹式の挙行と相なつた。

各クラスごとに一本づつ育成愛護の責任を持ち、卒業後も引きつづき若いクラスメートにバトンタッチされるであらう、と発表されるというまことに感激的なものであつたが残念にも式典は家族がサンフランシスコで船に乗るためニューヨークを離れた後のことだつた。

いよいよ戦争がおつ始まり、私はその晩エリスアイランドに、いわゆる監禁の身となつた。その新聞を見て私のゴルフのブロが見舞にきてくれた。敵国人に自分から申込書を出して許可を受け、面会にきてくれるということは並たいていではない。それに、小使いに不自由があるかもしれないと、若干置いていつてくれたその好意。普通にはできぬことである。私は目頭から熱いものがハラハラと落ちたのを覚えてゐる。

それから三ヶ月もしただろうか、新聞にワシントンのポトマックリバーの日本桜の木が、敵意をもつた誰かに切り倒されたという記事がでた。私は心配になつてエリスアイランドの監督官、ミスターファーマンを通じて学校長宛に手紙をだした。『新聞によれば桜の木が交戦



国たる日本の桜なるが故に切り倒されたいが、私の寄付した日本桜の若木が、年齒のいかなしい小学校の生徒になにか悪い感じをあてえはしないかと非常に心配している』云々と。校長からはすぐに返事がきた。『ネバーマインド、ミスター西川、子供らは、そんな気持は全然なく、受持ち通り肥料をやり水を与えて、来るべき春に花が咲くようにと願っている。』と書いてあって、私はほんとうに安心した。その後私は交換船で日本に帰り数年の月日がたった。日本は私の予想通りこっぴどくやられた。マッカーサーその他が日本に上陸してきて、日

本を思う存分料理したこと、は皆さん御承知の通りである。それから一年ぐらいたったと思うが、ペラムの桜がきれいに開花したところをカラーズライドで取り校長が東京の私宅へ送ってくれた。上の写真はその一

コマであるが、このことはいまもって私の感激の一つである。

星移り、物変り、戦後私は家内同伴で訪米したが、たまたまそのとき、その小学校にほど近いゴルフコースに招かれてゴルフをエンジョイした。その時、このクラブのメンバーの一人で私の大事な得意客が、五十人近いクラブのメンバーを呼んでパーティを開いてくれた。そして、『あのすくすく大きくのびた桜の木は、実はこのミスター西川が、戦前かつて愛児のお世話になった記念にといって寄贈してくれたものである』と披露してくれた。これには満場激しい拍手が湧きおこり、ちょっとした感動がただようように感じた。家内はその時目頭にハンカチをあてがっていた……。戦前、彼女は子供をつれ、四十日余りかかってハワイ、サンフランシスコ、およびパナマを経由して、貨客両用船でニューヨークへやってきたもので、一年余りにすぎない外国生活ではあったが、今、満開になっているであろう桜の園、思いがけない外人による紹介等々、全く感無量を感じた私たちだった。

春ともなれば、この静かな郊外で桜の木はたくましく育っているであろう——いわば私の分身のようなもの——この桜の成長は私にとって日米の絆として貴重であり、喜ばしいものである。一日本人が寄贈した桜が、幼い学童達を今後いつまでも楽しませるであろうと思うとき、あふいいことをしてきた。……と今もふと思いだすのである。

※筆者の西川氏は大手商社の一つ「日商岩井株式会社」の社長・会長として会社今日の隆盛を築きあげた世界的企業家である。現在なお相談役として経営の枢機に参画活躍中。また日本のバレーボールを世界一に育てあげた功労者でもあり、同会長としてわが国スポーツの興隆に貢献されている。なお《一水漫筆》は次号以下にも連載の予定。

ミュンヘン再訪

荻野定一郎

(春日・多田)

第二十四回國際オリンピックが今年ミュンヘンで開催され、しかも大変な破乱がおこったので、わが国でもこの都会は当分忘れないところとなるであらう。私達老夫婦はミュンヘンを二度訪れた。

第一回は一九六五年（昭和四十年）十月三日夜八時、イタリーのミラノからミュンヘン空港に到着した。私達は十年近くもハンブルグに住んでいる娘と二人の孫とこの地で落合、一週間彼女等と南ドイツの各地を水入らずで見物することになっていた。この半月以上イギリス、フランス、イタリーの各地を老妻の英語を頼りに相当ウンザリした不自由な旅行を続けてきたので、これからの一週間はドイツの事情にも通じ、ドイツ語が自由に話せる娘や孫達との楽しい旅行を夢みていたのである。ところが空港に迎えてくれるものとばかり思っていた彼女等の姿がみえない。旅行のプランもホテルなど一切を娘まかせにしていたので、私達はがっかりしてしまった。ドイツの十月初旬の気候は日本の十一月下旬くらいで、空港の夜はうすら寒い。

夜更けの人気のない空港で東邦人の老夫婦が気落ちしているのをみて、ルフト・ハンザ（ドイツ航空会社）の案内所の二人の娘さんが気の毒がり、日本人がよく宿泊するホテルを順々に電話してやっきとなつて探してくれるのであるが娘達の居所は見当らない。夜も十二時になったのでその娘さん達は、今日は相憎と日曜でしかも夜更けだから、今夜はとにかく自分達の懇意にしているホテルに案内する、明朝十時までには必ず探し当てるから安心せよといって、自分の自動車で私達をそのホテルに送りどけてくれた。

自動車の中からその娘さん達は、今夜はミュンヘンの秋のワイン祭りである一年のうちで一番にぎやかな日、遠くにユラユラ見える灯は、その祭りのチョウチン行列の灯りであると説明してくれるのであるが、華やかで楽しいであらうその灯も、私達にはうら淋しい不安な狐の火でもあるかみえるのであった。そして私は、幼年時代、雨あがりの夜私の生れた春日町多田の東方多利部落の天神山に灯がちらちらとみえるのをあれは狐の火だと祖母からおしえられ、おそれおののいた記憶がよみがえるのであった。

彼女等ドイツの娘さん達の勤務時間は夜十時までであるのに、私達のために十二時まであらゆる手を尽くしてくれたのである。しかもミュンヘンからハンブルグまでの長距離電話を数回かけた、自動車ホテルまで連れていってくれたりしたのであるが、すべて無料のサービスである。ヨーロッパの各地でチップに心をなやまして来た私達にはこの至れり尽せりの好意は身にしみて有難さを覚えるのであった。

翌朝この娘さん達の努力で娘達のホテルも判明した。娘に聞くと、飛行場はミュンヘン市から遠いのと國際空港で混雑するから、ホテルで待っているといって、そのホテルのメモも家内に渡していたとのことであるが、家内とすれば娘達が飛行場に来るものと思いつめて、娘の話などうわの空で聞き流していたのがこの失敗となったのである。私達を喜ばすため用意していた特別豪華なホテルも無駄になったばかりか、娘は一睡もなかったとのことである。

この二人のドイツの娘さんとは七年後の今日でも文通と贈物をお互に交換している。そして彼女等が日本に来るたびに、私達は心からなる歓迎をして彼女等の好意にむくいている。

娘さんの一人フォン・ステテン嬢（フォンというからドイツの貴族である）が一九六六年に来日したとき私達は羽田に彼女を出迎えた。彼女は私達の姿をみると、駆けよっていきなり私達にだきつき軽いキッスをするのであった。長身の美女の外人が背の低い老人にキッスをする異様な風景に接した日本人は、私達を不思議そうにみつめるのであった。私達老夫婦のテレビに様子を想像願いたい。

今日十月二十九日、私の鎌倉の宅に一人のドイツ人が突然現れた。あのフォン・ステテン嬢からの手紙と「ミュンヘンの記録」という美しい書物を届けるためであった。この紳士はデイトリッヒというノー

ベル賞受賞の放射線学者である。

私はこの未知ではあるが高名の医学者と、ステテン嬢の計らいで面会する機会を得たことを喜んだ。



昨年八月三十日私達老夫婦はまたミュンヘンを訪れた。夜ホテルで食事をした後、ものは経験とばかりに、世界一大きいといわれる、ホースプロイハウというビヤホールに行った。この建物は十九世紀に建てられた五階建て、全階では五〇〇〇席もあるマンモスビヤホールである。一段高いところに舞台があり、チロル風の帽子をかぶり、バイエルン風のズボンをはいた楽人が、いろんなダンス曲を奏している。太つちよの例のドイツのおばちゃんが、大きなジョッキをかかえるようにして配って歩く。どういうわけか客が時々立ちあがって歌を高唱しながらやたらに乾杯する。私達も意味はしらずにこれに和する。知らない隣席の客同士が年来の友人のように応待する。演奏曲がかわるごとに、男子はこれぞと思う女性を物色して踊りを所望する。

和服姿の白髪の家内にも、どうしたわけか四十がらみのラテン系のいきな男が、丁重に日本流のおじぎをしてパートナーとなることを求めて来た。家内はたじろいで頭を横に振っていたのであるが、私はいささか酔も手伝って、「おどれ、おどれ」とけしかけた。家内も男をこして五十年振りにダンスの輪に加わった。和服姿の東洋人、しかも七十近い白髪の老人の踊りをみてやんやの喝采であった。陽気な南独の夏の夜の珍笑事である。写真はミュンヘンのビヤホール

六年前にはこの地で淋しい秋の夜をよぎなくし、去年の夏の夜は南独人と若者のようにはしゃぎ、興を共にしたのである。私達にはミュンヘンという芸術的な都、活気のみちたビールの都、千年の歴史をもつバイエルン州の首都で、ドイツ人の親切さを知りまた南独の底抜けの明るさを味わうことができた。ミュンヘンという文字は永久に私から消えないあであらう。（荻野法律事務所長、四七・一〇・二九日記）

ふるさとの想い出

渡辺 金三

(氷上・朝坂)

『丹波弁』なんとなつかしい言葉だろう。私のふるさとの言葉！。

私は東京に住みついて三八年目の新春を迎えた。ふるさとを離れてからは四十年以上にもなるが、いまだにこの『丹波弁』が飛び出してくる。

私が生れそして育ったのは、沼貫村朝坂（いまの氷上町朝坂）という戸ばかりの部落で、村の中央を流れる佐治川をはさんで東西に分れた近郷でも珍らしい部落である。この『沼貫』という名の由来は、何でも欽明（きんめい）天皇（西暦五五二年）のころ大きな沼地であったところを貫いて出来た村だといひ伝えられている。そういえば當時を偲ばせる『油利の百塚』だとか『佐野奥の塚』などが、いまでもお残っている『沼貫』とはいかにもうなぎの寐床のようなほそ長い村で、真中を佐治川がゆっくりと流れている。

朝坂部落はこの村の下流に位置し、東西を結ぶ夫婦橋（めおとばし）は当時佐治川では一番長い橋だと、村人自慢の種であった。このように佐治川は郡内でも川巾も広く、水量も豊かであった。自然魚も沢山およいでいたから、小舟を持って漁業をやりそれで生計を立てていた村人も何人もいたほどだった。

私は幼ない時から魚つりが好きで、この夫婦橋の近くでよく釣りをしたものである。

今から四十年前も前になろうか、初夏のころ大阪のお客を生家に案内して一日川遊びを楽しんだ事がある。舟を借りて、ぎこちない格好で竿をさしながらゆっくり川をのぼっていく。澄みきった清流に魚の群れが私たちの舟のさきをのぼっていく。周囲の山々は濃い緑に包まれ、初夏の太陽が照りそそぐ。時たま思い出したようにバスが一台すごい砂煙をあげて走り過ぎると、またもとの静けさにかえり、自転車荷馬車がゆるゆると砂利道をすぎる。画のような風景である。

やがて川の中央にできている中洲に舟をつけ、『切網』を仕かけるのだ。『切網』というのは巾一メートル、長さ二—三〇メートルの網で下部に鉛のおもりがついており、これの両端に竹を立てて川を横断して張っておく。川を上下する魚がこの網に引っかかる仕かけになっている。

夕陽が沈むころになると、網をあげにいく。するとネズやクチボソ、白ハエなど幾種類もの川魚が、見事な銀鱗を見せながら網にかかっている。

中洲ではムシロを敷いた急造の宴席が出来、その真中に炭火をおいて、とりたての川魚に白味噌をすりつぶし、調味料とサンショの実を交ぜたヌタをつけて炭火で焼くと、即席の野外料理が出来あがる。これを肴に酒盛りが始まる。唄がでる、笑い声があがる。急流のせせらぎが耳を楽しませてくれる。やがて両岸からはホテルが飛び交う。夕やけにかわってホテル火が水面に映え、初夏の川風がこちよくほろ酔いの頬をなでくれる。大阪のお客は上気嫌で『こんな川魚の味は都会の一流の料亭でも味わうことができない』とお世辞抜きで喜んでくれたことをいまでも鮮明に覚えている。



たまたま、昨年の夏私

は墓参のため帰郷して、
なつかしの夫婦橋に立つ

た。そしてその変貌ぶりに

ただただ驚ろく外なかつた。

兩岸の堤防は整然と築かれ、

どんな洪水にもたえる頑丈で立派なもの

になっているが、かつて澄みきった

川の流れはどんよりと濁り、

棲家を追われた魚は殆んど姿を消し、

かつて川魚を生業としていた村人も

もちろん一人もいない。土ぼこりの道は

国道一七五号線として完全舗装され、

大型トラックや乗用車が引

きもきらずに忙がしく走っている。無数にいた

ホタルも農薬のためだろうめっきり減ったという。

私が夢に描き、いつもなつかしく思い出していた

佐治川の変貌を眼のあたりに見て、

文明はありがたいと思うが、こ

うも無惨に自然が破かいされている現実

に接しては、四十年の星霜に対して一抹の淋し

さを感じるはかなかった。

生家は七・八十年以上の風雪に堪えて、私の生れた当時そのまゝの姿を残していてくれるのがせめてもの慰さみであり、私のふるさとへのよりどころといえるようだ。

誰かのいった『ふるさととは遠きにありて思うもの』、年輪を重ねるに従い、ふるさととなつかしさがしみじみつのる今日この頃である。

(渡辺紙工業(株)社長)

長寿の故里

池田種生

(山南・和田)

前号の「山ざる」を読んで、佐々井信太郎先生が百寿に近いお年で他界されたことを惜んで、令弟一晁氏とは旧知の間柄でもあるので、早速お悔み状を差出した処、折返し返信があつて、一晁氏もすでに九〇才に達していられるが、今なお健筆をふるい研究に忙しいとのことであつた。

今から約三〇年前、一晁氏が多紀郡出身の下中弥三郎氏(故人、平凡社創業前社長)が翼賛会推薦の立候補を辞退されたあとをうけて、総選挙に立候補された時、私もその応援に駆けつけたのであつた。私は下中氏とは特別に深いつながりがあつたのと、父が当時の和田村長として政治運動もしていた関係で、その両者の代理という形で壇上に立つて、声からして有権者に訴えたのであつた。当時六十才位であつた一晁氏は、よく透る若々しい声の名演説を続け、少しの疲れも見せず見事に当選したのであつた。

下中氏は今は亡く、父佐太郎も昭和四三年十月、九四才で歿した。

父は渡辺製袋KK会長の渡辺泰造氏や小田嘉市郎氏（丹波新聞創始者・社長）とは「おいこら」の間柄で、私も小田氏とは戦前から懇意であった。父死去の際には、特に人間味豊かな追悼文を丹波新聞に掲載して頂いたので、お礼の挨拶をかねて何年ぶりかで、丹波新聞社を訪れた。そしてまず驚いたのは、社屋が見えがえるほど立派になっていることであった。

次に驚いたのは、その時八十才を越えていた小田社長は、片足は切断してすでになく、両眼とも視覚を失った身で、一点の暗さも見られずカラカラと笑いながら、冗談をとばしていることであった。それだけで本も読み、毎号文章を発表しているのだから「奇蹟」というほかはない。まだまだ長生きされると見うけられ、心強い限りであった。

丹波は確かに『長寿の故里』である。

（筆者は七十五才になるが、現在教育評論家協会理事長その他四団体の役員、旬刊・日本百貨店通信主筆で昨年十月NHK教育TVで、国民の教育を求めての座談会に出席したり、各方面に活躍中である）

思い出の中のふるさと

木村つた江

（市島・岩戸）

私の生家は国鉄福知山線の市島駅から徒歩で約一里の山あいにあつて三方を山で囲まれ、その裾に三等分されて三十戸足らずの農家が点

在している鴨庄村岩戸（現在は市島町岩戸）という。名前の通り寺の裏山には石の扉のある大岩があり、昔の祠の跡らしい箇所がある。私が小学一、二年の頃祖母は、『あの岩屋は天照大神がお隠れになったことのあるもったいない岩屋やさかいそばへ行ったらあかんで』と語っていたものだ。子供の頃からひと倍探求心の強かった私は隣りの二つ年上の男の子を誘ってその岩屋を見に行つた。処が案に反してお粗末なうす気味の悪い岩屋であつたので二人はがっかりした。帰つてその話を祖母にしていると、兄等が『おばあちゃんのいうことは大昔のつくり話や。二三年前には泥棒か乞食があの中にねとつたそうやで、お前ほんまにしとつたんか、あほうやな』とさんざん嘲笑されてから何となく岩戸という名が嫌いになつたことをついこの間のことのように覚えてゐる。その頃の丹波方面特に鴨庄村は冬が来ると毎年のように二メートル近い大雪に見舞れることがしばしばであつた。そんな時は村の中央にある小学校までの三キロ余りの道も大人達が総出で雪かきをしなければ通学出来なかつたものであつた。でもみんな寒さに負けずに校庭では雪合戦をしたり、ゴム靴で雪をふみ固めて即席のスケート場を作つて十分間の休憩時間も惜しんですべり廻つたり、思う存分雪と遊んだものだ。また春は学校の帰り路道ばたのレンゲ畑で駆け廻つたり、そら豆の実を失敬して生ではおぼつたり、初夏ともなれば緑の毛氈を敷きつめたような田の面を渡る風がほほに心地よく、雨上りの田の土手には時おり溢れた水と共にどじょうが体をくねらせながら草の上を泳いでいたりする。そんな時、夢中で蘆草腹を脱ぎ捨て、ビチャビチャと足ぶみをする、どじょうは慌てて草むらにかくれる。あゝいゝ気持、ひんやりと、なめらかで柔かい草と、くす



ぐったいような水のぬくもりの、とろけるような甘ったるさ、それであつてさわやかな足の裏の感触、故郷を離れて四十年も過ぎた今頃になつてその感触がまことに鮮明に足の裏から実感として伝わってくるのはどうしたことだろうか。そしてその瞬間たまたまなく故郷が懐しくなってくるのに新たな感激さえ覚えるのである。

八月のお盆の楽しみはあちこちの寺や校庭で催される盆踊り大会である。夏休み中の宿題などそっちのけで毎晩盆踊りの大きな輪の中で踊りほうけたおさげ髪の頃の楽しかった思い出。そして秋も酣となり、村の松茸山が解禁になるのを待ちかまえて裏山の谷から峯へ、峯から谷へと一日中かけ巡り、やっと一本の大きな松茸を見つけた時の嬉しさはまるで宝島の宝を捜しあてた時のように胸がはずんだものだ。今にして思えば『よくぞやった』と自負したくなる。何ともおかしな話である。けれども自然

とのふれ合いがこんなにも貴重なものに感じられるような世の中になろうとは自分のもとより、誰も想像し得なかったのではないだろうか。それにしても現在のふるさとには、たにしも、どじょうも、姿をみせてくれなくなった。そしてあの懐しい手作りの草履も、蒿葦きの屋根も殆んど見かけなくなった。松茸も年々少なくなったばかりか、山裾からだんだんに頂上へと生える場所が田んぼから遠のいて行く感じがする。多分農薬の散布の影響だと思いが、もう十年も経てば丹波の松茸は宝石のような存在になるのではないかと悲しくなってしまう。唯一つ五十年前と殆んど変っていないものがある。それは星である。今改めて故郷の夜空をじっと眺めてみたい思いにかられている。母が生存中よく口にしていた『お前達年寄りになったら兄弟みんな仲よく田舎で暮したらよい』と。そんな事を本気で考えた時期もあったものの、今の田舎には心の自由がない、人間関係がわづらわしい、いやな古いしきたりが根を張っている、このような狭い枠の中で四六時中近所の人の眼を気にしながら生活して行かねばならないような風潮が多分にあるのを昨年のクラス会に出席した時痛切に感じた。やはりふるさととは遠きにありて想うものだなあと、自分にとっては二度と手に入れることの出来ない大自然との幼き頃のふれ合いを何物にも替え難い宝として、ふるさとを想い出の中で育てて行こうと考えている今日この頃である。

(木村商事(株) 役員)

第5号・原稿締切〓四八年一二月一五日

自然の中で

常岡幹彦

(柏原)

今年四月、五年余り住んだ立川を離れて飯能市に住むことにした。飯能市といっても山の中で、近くに川底の石コロがひとつひとつ見える河が流れ、梅林があり、秩父山岳地帯の入口という感じ。この自然にとりつかれて私は偶然だったが農家の離れを借りることに決めてしまった。買物など少々不便だが家内には私のわがままに目をつむってもらうことにした。秩父の山は丹波の山のような暖かさが無いのが不満だけれど、ここには確かな自然がある。空気がある。草のにおいがある。

私は丹波生まれだが、父の仕事の関係で、中学二年の時丹波に疎開するまでは東京で育った。残念ながら丹波の土着とはいえない。田舎の味を知った時（正確には今思えば）「ああおそかった!」と思った。ミソコシ、ガンドの意味がわからなかった。わらで作ったゾウリを始めてはいて山道を登り土を踏んだ感触を今もはっきり覚えている。ジカに足のウラに伝わって来た。心地よかった。山の草刈りをしている時、草のにおいも知った。

二人の子供に土を知ってほしいと思う。泥んこになってほしい。私も負けずにキレイゴトでなく泥んこになって絵がかきたい。言葉ではなく自然の「いのち」がどんなものなのか——確かめたい。必ず人の心をゆさぶるものが——。絵をかくてアトリエでひねくっていると、

一見きれいになったり気のきいたようなものは出来るけれど、何か最も大切なものが逃げてゆくように思えてならない。自分が至らない未熟者だからそうなるのだが——。いくら自然の中に住もうと、心がなれば何にもならない。奥武蔵に住んで自然と共に私の心を養ってゆきたいと思う。

西武池袋線で武蔵横手駅下車、徒歩十三分。どうぞハイキングがてらお立寄り下さい。
(日本画家)

欲ばりな私の近況

音無太美子

(春日・黒井)

幾星霜あゆみきたりて……。楽しき想い出あり、また幼子との死別の悲しみ、一度、二度ならずして深くわびる母である。

出雲にあるときのあの未曾有の大水害、豪雪。ありし日の苦しみ、楽しかりしこと、ああ、現象すべて夢、今にしておもえば、これみな、おもしろい心の、愛の心を教えてくれし、感謝すべき出来事であった。

ペンさえ持たせておけば、ご気嫌で、仕事がすきでたまらぬ女。よい意味での誇りをもって素直に勤めよう。好きなことをして、お給料もらって、この上なし、と喜んで今朝も家を出る。バス停までかけあし、スポーツにうたが好きだ——老いを忘れたヘンな女……。

お昼休みの一時間は体育館へ、バトミントンもやる。卓球はカッコ

ウもとれぬ。が、バスケットのシュートの練習、これがどうしてはるか四十年の昔とった何とやら——少なくとも自分だけとは思って——体力の衰えは認めざるを得ぬが……楽しい。汗して知らぬ間に時間が経っている。

きびしく指導を受けた中山先生をなつかしむ。松下さんはうまくいった。田村さん、井口さん、橋本さんは勉強に体育は模範生だった。つぎつぎと連想はつづく。

第二金曜日は会社の和室で俳句の集い。達人にまじってつたないながら評していただく。季節が出されるといつも丹波の風景が目につく。はずかしながら近句を——

鰯雲のびて被いぬ昼の月

黒揚羽ふと病む友を案じけり

山の端に夕日まぶしき稲穂波

秋うらゝ落穂ついでむ雛二、三

「ひまがあれば英会話が習いたい」といったら息子から「丹波弁で、標準語も正しくいえないのに——」と笑われたが、そばから娘が「いゝわ一緒に習おうね、お母さん」という。まんざら慰めだけでもなさそう。

若いころ習った三味線もやりたいし、その他いろいろと欲ばり、会社の文化祭が近づいたといつてははしゃぎ回るなど、老令忘れぬでもないが、いつまでも子供気の抜け切れぬ呑気もの——。

「明るく」を心がけ「ありがたいございます」が口ぐせのようで、

今日、今日と喜んで生きる喜びを知った——以上が私の近況です。どうぞ声を出してお笑い下さい。

(四七年十二月十日記)

今年も祝福を 佐藤 菊子

(永上・谷村)

み恵みのうちに新年をお迎えの事と存じます。この年も御祝福が豊かにありますように祈ります。さて、わが家の近況を……。

実(四一歳)皆さんのお祈りに支えられながら、開拓伝道第二回の新年を迎えました。ここにきてその困難さを咬みしめております。今年のごとくに祈る年でありたいと願っております。この地にキリストの教えが形成せられるためにご加祈下さい。

菊子(三九歳)家事、子供達のしつけや教育、夫のアルバイトの手伝い、小学校への奉仕と身体がいくつあっても足りないような毎日です。健康が何よりの財産ですが、夫と共に祈りつつ開拓伝道に仕えております。岐阜、大阪西の両教会の兄弟姉妹や全国の友の祈りを頂いて感謝しております。

義哉(七歳)国立五小の一年生。泣き虫はなかなか治りません。絵を画く時はきまって電車。伯父たちの影響でもないでしょうが、上衣でも本でも気楽に忘れてきます。「あの人は神様を信じているのかなア」時折り面白い事をいいます。

はんな(六歳)保育園の年長組、ノロマさんが治りません。が、音楽教室は根気よく続いています。今年は小学生。日曜日には三人で近

所のお友達を教会にさそいます。

えりさ（三歳）わが家の女王様で、家族全部が被害を受けています。

えりちゃん、エッチャチー、えりさ、と使いわけが出来ます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

特攻の思想〈大西滝治郎伝〉を読んで

足立 正（氷上）

大西中将と言えば小学生の頃、戦時中のあの徹底した軍事教育のさなかに郷土出身の名将として周囲から聞かされていた名である。どんなだったのだろうか、軽い気持でこの本を求めた。読み進みながら私は非常な驚きと感動に包み込まれ夜を徹して一気に読み終えてしまった。完全なまでに自己の使命を知り、それに誠実に生き且つ死んだ立派な人格、非情に徹すべき使命を極めて情的に完遂された大きな人格を、私は驚きとあこがれの思いでかろうじて受けとめた。そしてその人格の中に特攻の思想をみた。そこで私の感じたことをこの本の中から文章を引用させて頂きながら述べてみたいと思う。終りの方の頁にこう書かれている。

『大西中将は、特攻隊が出撃する際に与えた訓示の中で、「命ずる者も死んでいる」という言葉を使った。彼自身に即して言えば、六百十四名の若い生命を自分の生命一つが引き受けたのだ、という思いがある。特攻隊は大西という「死者」から発進して、つぎつぎと死者

の列をつくっていったのである。大西は、想念の中でこの死者の列と遭遇し、しばしば涙を流し、彼らしい豪快さを失って、とぼとぼとした気持になっている』

大西中将の人格には死した六百十四名の生命が一体となっていたというのである。

正に偉大にして非常なる抱容力といえよう。特攻進発を決意するまでの中将の心中にはもちろん具体的ではないまでも、そうした自分の人格的体現の将来を見通したればこそ決意出来たものと思うし、またその後は一日一日とふえ続けて行く死者の人格を自己の中に加えてそれが彼のその後の行動を推進して行ったものと思える。文中に、

『これほど客観化能力のある人間が、「特攻」を出したあと、その規模を拡大してしまう矛盾は、結局、彼の「国家観」「死生観」の問題になってくるのである』とある。

現状把握力というか、客観化能力は、丹波人によく見られる長所であると思う。一つの問題の議論にも顔面紅潮して熱中する、というよりは、顔面蒼白、眼をすえて議論するとか、議論の渦の中で渦におぼれず適格に決論をずばりと導き出す、といったタイプに属する。中将の「死生観」は「人生は水泡の如し」の文中に記述されている。少し長くなるが引用させて頂く。

『大西の「死生観」は「決死不如不思死生」に尽されるが、具体的には、母のうたが亡くなったとき、長兄におくった手紙がその端緒を物語っている。

大正二年五月、大西滝治郎は海兵を卒業して遠洋航海をおえたばかり、「筑波」乗組の少尉候補生である。その一部を紹介すると「悲し

みても余りあれど、今に及びて何をか云はむ。只あきらめが大切な
り。又一度思ひをひるがえして、宇宙を大観せんか、生必ずしも喜ぶ
に足らず、死また悲しむに足らず。人生は古人の云へるが如く、宇宙
なる大海に生ぜし水泡の如し。(中略) この大海に於ける水泡、何ぞ
宇宙に於ける人生に彷彿たる。この水泡の生ずるは、人生の生まるる
にして、泡の消ゆるは人生の死なり。而して泡の生ずると云ふは、大
海の風の波等によりて、ただ実に不安定なる夢の如きものに形を變
じてあらわれしのみ、水泡も之れ大海の水の一滴なり。之と同様に、
水泡の消ゆるは、ただ其の形消えて、甚だ安定なるものと海水に帰す
るなり。人生は之れ宇宙なるものの一分子が、甚だ不安定なる、果て
なき泡の如き人生なるものに変ぜしなり」滝治郎、ときに二十二才で
ある。』

実にみごとに死生観と云うの外ない。更にその死生観を現実に体現
して生きかつ死んだところがなおみごとである。

中将の「国家観」については 文中、

『彼にあつては「国体」よりは「国家」の方が明瞭な概念になってい
たと思われる。このように推論するのは、大西は特別攻撃隊を繰り出
すことによつて、彼自身の中に「国家」の概念を鮮明にしたと考えら
れるからだ。彼にとつての「国家」は、「零戦」や「月光」に乗つて
発進していった若いパイロットたちの、血と死によつて支えられてい
る。「国家」は法律上の、あるいは政治哲学上の概念ではなく、特別
攻撃隊という具体的事実を触媒として成立する、具体的な概念なの
である。』

この「国家観」は大西中将がいかに具体的事実深く肉迫したかを

物語るものではなからうか。特攻隊を出撃させることには、単に彼自
身の立場に於てその本分を尽すためのことのみでなく、時代と事態を
冷静に客観視した上に、自己の心情に否定的な結論を出さざるを得な
かった彼の心の痛みがある。それがこの「国家観」には出て、いるよう
に思われるのだ。当時の軍国主義下での「国家観」としては、現実を
真に直視した頭脳がさぐり得た、きわめて現実的な「国家観」だと思
うのである。大西滝治郎中将の生と死、そしてその戦いは遠い昔、明
智光秀の丹波攻めにみせた丹波武士団の姿をほうふつさせるものがあ
ると受けとめるのは同郷者のひが目であらうか。(明治生命勤務)

(附記)「特攻の思想」草柳大蔵著三五〇ページ・価七五〇円・文芸
春秋刊・四七年七月三十日初版

短歌 母を偲んで 秋元多美子

(山南成松)

昭和二十年の東京の大空襲にあいました時は長女出産の二日目でした。その娘も無事成長してさる四四年に結婚し、今は長男が大学四年となり、次女はBG、三女が短大二年です。

いつか長沢浪江伯母が生前郷友会の事を話してくれましたが、そのときは年寄りでないと思つておりましたのに、出席出来ることがわかり喜んでおります。今後よろしく願ひします。

豊中市に住んでいた母が四七年一月に亡くなったあとで作ったもの

をお送りします。

亡き母は八十路を超えしもふるさとを
今ひとたびも住みてみたしと

今にして母の思いはふるさとを
離れて住みしに悔いを残して

母逝きて子等の集いしふるさとの
墓前の山にカラス来て鳴く

久々にわがふるさとかえり来て
山もなつかし心なごみぬ



短歌 お盆の墓詣り

野村千里
(氷上・幸世)

先ごろの郷友会の集りを楽しく思い出して皆さまの御健康を念願いたしております。

拙作の短歌、おはすしながらお送り申しあげますので、よろしく御選択お願い申しあげます。

(旧姓井上)

お盆の墓参り

古里の墓参りの旅に夫と行く

着く先先に迎えられつつ

青田吹くみどりの風を惜しむこと

ひたすらにわれ深呼吸する

古里の山河は今も変りなく

めぐらす山を飽かず眺むる

うから等と共に詣る菩提寺に

祖先の墓碑をカメラにもとる

丹波路の山また山の古里も

舗装されいて車はげしき

山上の古刹に詣で高原に

ドライブもして故山に遊ぶ

半世紀逢わぬ従弟も盆参り

語ればつきず久々にして

俳句 古稀自祝

九月下旬帰福の車中で（山陰線）

○保津川の崖のすゝきに風少し

十一月で古稀になりました。

○荒波の春秋越えて古稀自祝

○過去忘れ古稀を迎えて走馬燈

○柿むくや故里人を思いつゝ

○緋毛氈敷きて紅葉の野点かな

歌無技座の顔見世を観て

○顔見世や老いて演技のおとろえず

文春まつりの文士劇を見て

○毒舌も交りて秋の文士劇

植村 章子

（春日・船城）

国立博物館百年記念琳派展であまりに見事な光悦の赤楽茶碗を見て

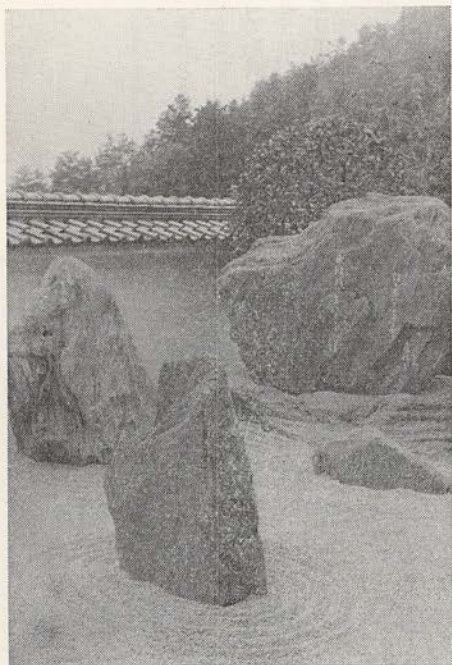
○赤楽の一服ほしやかわきおり

上野の山で歩道いっぱいに落ちていました。

○踏みて行く銀杏落葉と冬の日と

常岡画伯の個展で

○紅椿築地塀背に白き幹



〈写真〉 市島町竹田・石縁寺句碑Ⅱ四七年十一月除幕

年会費増額―四七年度定時総会で決議

関東氷上郷友会の昭和四七年度定時総会は十一月十一日午後三時すぎから東京丸の内「山水楼」で開催された。

荻野定一郎、西川政一、生駒篤郎氏ら本会顧問、長老を始め会員約六十余名が出席、仲副会長の司会で開会、足立三治会長が挨拶のあと、議長席につき議事に入る。

第一議案、規約改正の件

その一、会計年度の改正Ⅱ従来の一月一日から十二月三十日とあるを、(十月一日より翌年九月三十日に改める案)
その二、右に伴って定時総会を十一月中旬に開催する。

をはかり、満場一致で承認。ついで

その三、会費を年額一ヶ月千円(現行は五百円)に増額する案。

を上程、伴仲氏より諸経費の値上がりに伴い、久しく据置かれていた会費の値上げは会

の運営上やむを得ない。それとともに未納会費の払込みを促進してゆきたい、と提案、これに対し、生駒氏よりこの際終身会費制などについても検討したらどうか、との意見が述べられたのち、明年度より実施することに決定を見た。ついで、

第二議案、本会機関誌「山ざる」第四号発行の件

を提案、機関誌は本会の目的である会員相互の親睦、交流を図るうえの中核であるから今後は定期的に発行すること、及び発行月も第四号より毎年三月発行にしたいこと、会員は出来るだけ多くの方の原稿や消息を寄せることなどの希望を述べ、異議なく承認。さらに、

第三議案、会計報告の件

前田理事より(別記掲載)詳細に報告、承認を得て総会の議事は無事終了した。



(四七年度総会で議案説明に聞き入る会員)

引続き同会場で後刻開かれる有田喜一國務大臣祝賀会までの時間をさいて、地元から出席された細見清次春日町長から

「最近の水上市内の近況」について、約四十分に及ぶ詳細な報告を聞き、会員一同を深い望郷の思いに浸した。

新春初の役員会

一四八年新春初の役員会は一月二七日午後四時より春日建設の応接間で開催。当日は有田、足立両会長を初め、西川日商相談役、小谷理科大学長らの珍らしい顔のほか伴仲、竹村、須原、永井、有田、足立治、小谷正己、小谷正雄、常岡、足立正、松山の各役員出席懇談に入り、

有田氏が丹波開発の壮大な構想を練っているので近く発表したいと（別記）のような提案から、会員意見を述べあったあと、「山ざる」第四号発行を議題とすれば、まず西川顧問より「山ざる」は年一回の発行では少なから、せめて二回発行に踏み切るべし、と提案、さらに「山ざる」の題号は感心しないから改題したら、と発言、これに対し、多数か

ら、両問題とも本会としては重大案件だから、会員の意見も徴し慎重に検討することに結着、

この間有田氏が寄贈の洋酒が出たため、議論が一段と活発となり八時すぎまで、珍らしい熱の入った会合で終始した。

恒例春の懇親会

深川の名園・清澄庭園で

本会恒例の春の懇親会は四七年五月二二日、深川の都立清澄庭園で催された。この日は、日曜日と五月の好天に恵まれ、庭園には都内の子供たちが父兄を伴って入園しており、なかなかの賑わいを呈していた。参加の会員たちも早くから入園されて、十一時から



の受付係もとまどうほどのありさま。受付の始まる前にそれぞれ由緒ある名園の中を散策してもらい、正午より宴会場にあてられていゝ「大正館」前で記念撮影を行ない、着席。出席者の紹介があつて、一同乾杯を行ない、所用で上京されていた地元の柏原、春日、山南の各町長らが出席されていたので、地元の近況など伺つて、和気あいあい三時近くまで歓談を尽し、散会となつた。(写真は清澄庭園・大正記念館前での記念撮影)

当日の出席者は左の通り約五十名。

懇親会出席者(敬称略)

◎来賓 平岩慎吾青垣町長、安井幸太郎、柏原町助役、細見清次春日町長、杉本喜八郎同町議長、畑博 同町、
◎会員 足立三治(青垣) 足立治(同) 足立勲平(同) 足立 定(山南) 足立順治(氷上) 足立 正(同) 足立かをる(春日) 秋元多美子(山南) 芦田 務(青垣) 井本義一(柏原) 生駒篤郎(同) 植村章子(春日) 荻野完一(山南) 荻野 武(市島) 奥谷松治(同) 河津助治(春日) 木村つたえ(市島) 木呂子恵美子(春日)

小谷正己(青垣) 鴻谷喜代治(同) 須原清(市島) 塚口 稔(氷上) 常岡幹彦(柏原) 永井輝江(市島) 能勢次郎(春日) 伴仲信次(同) 野村千里(氷上) 藤田千治(市島) 細見礼子(春日) 堀川万

有田大臣 新任祝賀会

郷土の大政治家、国務大臣企画庁長官有田喜一本会名警会長の大臣就任祝賀会は、郷友会総会のあとをうけて同五時すぎより「山水楼」で行なわれた。会員およそ七十名が拍手をもつて迎える中を大臣は久代夫人、藤原秘書官を伴つて出席された。

折から臨時国会開会中で最も多忙な政局の中にもかかわらず出席されたこととて、会場は熱気にあふれ、荻野武理事の司会で、足立会長の祝詞を始め、拍高同窓会代表梶浦浩二郎、荻野定一郎顧問、地元代表細見春日町長らの祝詞の間に、上山頭氏の乾杯、有田大臣の謝辞等にぎやかに歓談が展開、前後に渡辺副会長の音頭で「有田大臣万歳」を叫ぶや、

次(柏原) 前田和市(山南) 松山幸逸(春日) 余田貞雄(市島) 余田 進(市島) 吉岡禎文(山南) 吉竹貞活(柏原) 佐竹正世() 以上

間髪を入れず、有田大臣から「氷上郷友会万歳」の音頭がとられ、郷友相和した祝賀会は華やかに閉会した。写真は謝辞を述べる有田大臣と足立会長(左)、渡辺副会長(右)

なお当日の祝賀会開催に当り、有田大臣より清酒十本、細見春日町長よりお祝儀、足立会長より補助金をそれぞれ頂きました。有難うございました。

出席者氏名(敬称略、順序不同)

来賓、有田喜一国務大臣、同久代夫人、藤原三郎秘書官
会員、足立三治、足立石蔵、足立誠一、足立正、足立かをる、有田毅、生駒篤郎、石田修三、磯畑弘太郎、上山頭、上



田実、植田博、植村章子、荻野定一郎、
荻野演一、荻野英夫、荻野武、景山正吾、
門山静子、門山寿子、永井常資、河津省
三、木村つた江、菊地顯三、小林章乃、
須原清、鈴木和栄、谷垣正雄、常岡幹彦

東俊一美、長富千代一、野村利吉、野村
虎男、畑光、林谷集、伴仲信次、久
安敏夫、菱田ふみ子、藤田千治、藤尾ち
え子、堀川万次、前田和市、松山幸逸、
西川政一、村上豊、村上末吉、山中一
朗、余田喜重、横山幸三、吉岡禎文、渡
辺金三、井上猛博、最上次郎、梶浦浩二
郎、藤原岩市、音無太美子、小寺辰二、
三宅良夫、村上大憲、余田士郎、
細見清次春日町長、杉本喜八郎同町議
長、山田茂同助役 (以上)

有田氏悠々当選

第33回衆議院総選挙

第三十三回衆議院議員総選挙は四七年十二
月十日全国一斉に投票された。開票結果では
自由民主党の現状維持、社会、共産両党の躍
進、公明、民社両党の凋落という番狂わせに
終わった。ところでわが郷里の兵庫第五区の
開票結果は次票の通りで、氷上郡出身の前国
務大臣企画庁長官有田喜一本会名誉会長は悠

々第二位、当選九回目の栄誉に輝いた。

兵庫第五区(定員三名立候補五名)

当選 佐々木良作 民社前六一六八三(7)

有田 喜一 自民前 四五八五一(9)

小島 徹三 自民前 四五四六六(10)

次点 いが 定盛 社会元 四三三二二

中家 貞雄 共産新 六〇六二

(カッコ内は当選回数を示す)

常岡画伯・個展



水上郡出身の中堅日本画家常岡幹彦画伯の第二回個展が四七年十二月四日より一週間、京橋の中央公論社画廊で開かれた、昨年の第一回より画境も一段と獨創性を加えた作品が多く展示され、特に百号大の大作が会場を圧し、約三十点上った。会期中は郷友会員多数が会場を訪れ、常岡画伯と画論に花を咲かせている風景も見られた。売上げも上々で大成功であったとのこと。

なお常岡画伯後援会有田喜一氏を会長に結成され、郷友関係者多数が参加している。前ページの写真は個展画廊でのスナップ、左が常岡画伯、右は生駒篤郎氏。

木下画伯・個展

洋画家木下五郎氏(氷上・石生)は、さる二月下旬、東京銀座の画廊で個展を開催、風景画を中心とした大小の洋画二十数点を展示します円熟した近年の画風を披露された。同氏は本年七二歳郷友有志も来場し盛会であった。ご健勝を祈ってやまない。

同好会便り

御参加を歓迎

囲碁の部

本会の囲碁同好会も二年目を迎えた。四七年は会場の選定などのこともあって、三月に第五回を赤坂の「手談」で開いてから一時中断したが、七月からは中央区の都勤労福祉会館地下鉄八丁堀駅下車娛樂室を常設会場とし、毎月第一土曜日に開会することを申し合せた。次後毎月定期的に開会して新しい年を迎えた。

会員の中に囲碁ファンはアンケート調査によってもかなり沢山おられるので、今年は積極的に参加を呼びかけて、にぎやかな同好会に発展を図りたいと考えている。

どうか同好の方は世話人の松山幸逸、足立正の兩人にご連絡をお願いしたい。(松山)なお、前年中の成績表は次の通りです。

		第5回 3/18	第6回 7/8	第7回 8/5	第8回 9/2	第9回 10/7	第10回 1/14	第11回 12/2
		勝 敗	勝 敗 分	勝 敗	勝 敗	勝 敗	勝 敗	勝 敗 分
林松	谷山	4-3 4-0	5-2-1 6-0-1	— 6-4	— 3-4	6-3 5-2	4-4 3-4	— 7-2
	立竹	— —	3-2-1 —	3-2 4-2	1-4 4-4	3-6 3-7	1-4 3-5	5-5 2-3
足吉	辺井	2-3 —	— —	— —	— —	— 3-3	5-1 —	5-5-1 4-5
	上竹	— —	0-4 —	— 4-2	— 4-4	— 3-7	— 3-5	— 2-9
渡石	野川	— 2-3	— —	1-6 —	5-1 —	1-4 —	— —	— —
	畑本	3-1 1-5	1-6-1 2-3	3-3 3-3	6-1 3-4	4-4 3-5	6-1 —	4-5 —

ゴルフの部

氷上ゴルフ同好会は昭和四十六年四月三十一日
第一回コンペを催してから、回を重ねること
八回（年四回）二九名でスタートしたメンバ
ーも更に同志を得て現在四十数名になり益々
盛んになってきました。

同じ山水のもとに育った者同志が、あわた
だしい都塵を避けて一日をグリーンに白球を
追ってプレーするさまはかつては想像もつか
なかったことで、ゴルフを通じてのお互の親
睦と友情はまことに楽しい限りです。

其の後の経過をご報告致します。

- 第五回 我孫子CC 優勝 竹村政雄
- 第六回 霞ヶ関CC 優勝 田口正男
- 第七回 藤沢PGC 優勝 足立守久
- 第八回 相武CC 優勝 足立 正
- 第九回 小金井CC 三月十三日（予

定）

氷上ゴルフ同好会をご存知なかった方も同
好の士はぜひご参加下さるようお待ちしております
ります。ご婦人の参加も歓迎します。

（伴仲信次）

春日町立中学校の備品募金

春日町では昨年より町立中学校の建築を開
始し、この五月にはいよいよ完工式をあげる
が、まだ付帯設備の予算が不足のため、各方
面へ募金運動を展開中。

最近、関東氷上郷友会の春日町出身会員に
もその募金要請があり、荻野定一郎、伴仲信
次、村上末吉、長富千代一、植村章子、足立
かおる、松山幸逸の諸氏が奔走中、同町出身
者で志のある方はぜひこの諸氏にご連絡をい
ただきたい。

☆



表紙画家紹介▼常岡文亀画伯は明治三十一
年柏原町に生れ、東京美術学校日本画科
を卒業、結城素明先生に師事、母校教授
となる。その後文展審査員、大日本美術
院同人、日展委嘱等日本画壇の重鎮とし
て郷土出身画家の大御所である。帝展に
「鶏頭花」及び「棕櫚」を出品、それぞ
れ特選「カンナ」は政府買上げの榮譽を
受けた。さらにシンガポール総領事館を
はじめ在外公館の作品を制作、世界的に
知られる。なお文亀画伯の長男幹彦氏も
父と共に日本画家として活躍している。

お便り 短信・消息

荻野定一郎（春日多田） 当地（鎌倉市御成町一七ノ一四）で老夫婦の静かな生活を楽しんでおります。土、日の他は丸ビルの事務所（荻野法律事務所）に通勤して老化の予防に備えております。（趣味・旅行・読書）

上田 要（春日・棚原） 一昨年は一年近くの風邪にかかり、病床にありましたが、病気の気分もなくなり、ようやくもとのからだにもどりましたから、御放念下さい。山登りはもう足が利かなく残念に思っておりますが、謡曲や習字を愛好しております。

気候のよい時は丹波で過ごしますが、大方は芦屋で静養しております。

藤原岩市（多可郡） ビンボンとバンダに狂躁し、緊張緩和の幻想にとらわれ、内に革命勢力の急伸を見、外に友邦諸国の信を失いつつある祖国の前途を案ずるとき、甚だ憂慮にたえないものがあります。倍旧のご叱教をお願い申し上げます。

古林すみ乃（市島・竹田） 主人はじめ六人の子供がそれぞれ一家をなし、平凡に暮しており、感謝の毎日です。

恵本みよし（山南・前町） 「山ざる」四号の発刊をたのしみしております。寄稿しないでスミマセン。

上村 愛子（柏原・屋敷） 長男は芸大二年（美術）、長女は高校三年、次男は中学三年で、それぞれ入試が近づいていますので、心せわしい事です。主人は愛媛県へ単身赴任しております。（旧姓・山脇）

萬川てる子（市島・竹田） 長女が結婚いたしました。

（係）おめでとうございます。出来ればもう少し詳しいお便りをお待ちしています。

上嶋 一晃（氷上・本郷） さる九月に一ヶ月ばかり北アメリカを旅行して来ましたが、その雄大さとよく整備された国家に改めてその偉大さを認識しました。勤務先ブラックアンドデッカーインク。

小野智恵子（氷上・大崎） 同郷同窓の友山下陽子さんの死去に接し年寄りの冷水を感じ入りました。なお加えて、身辺取り込み多難多事にせめ苛まれ閉口しております。人生とは所詮かくの如きものかと痛感しております。

小林 剛（市島） 過去三年間練習を続けた乗馬が、その甲斐あってさる三月（四七年）の乗馬大会で障害飛越で無失点優勝をいたしました。ゴルフはしばらく中止していますが、またやり始めようと思っております。

生駒 篤郎（柏原） 過密東京の環境悪化を見るにつけ、過疎になやむふるさどが一層なつかしく感じます。（趣味・ゴルフ、麻雀、読書）

梅垣作太郎（山南・大河） 今年米寿を迎えます。幸い元気で、なるべく楽しく過そうと心がけております。外出することは控えて、草花を友としてその手入で運動することにしております。

谷垣 尚（柏原） 御無さた申訳ありません。会合の案内をいつも頂いて感謝に堪えません。仕事（新日鉄）が忙がしく、子供も小さく会合の案内を頂いても出かけかねますが、いつか出席出来る日を楽しみにしております。

波多 洋三（春日・棚原） 名古屋に来て四十数ヶ月が過ぎました。月日の立つのがあまりにも早いのを今更のように驚くとともに、それだけ皆様にごぶさたいたしております。深くおわび申し、御健勝をいのりあげます。（大阪電気暖房（株）名古屋支店長）

鴻谷喜代次（青垣・佐治） さる四月、小学校の同窓岡博治君の母が熊本より上京し、先輩の横山幸三氏と三人で春宵を歓談しました。横山、岡両氏は実に四十年ぶりの再会でした。

河津 助治（春日・国領） ふるさとを遠く離れて東京で仕事をしているため、まず健康と誠実を第一に考え、他府県の出身者とも悪い

意味での争いをしないよう心がけております。（趣味・小旅行）

池田 種生（山南） 拙著、教育評論集「プロレタリア教育の足跡」がこのほど（四月）再版されました。

小田 明子（柏原） 主人も柏原高校第二回の卒業生ですので時おり丹波のことをあれこれ思い出してはなつかしんでおります。

大地富美子 さる四五年四月上京して参りまして、昨秋は松柏同窓会に出席して、とてもなつかしい皆さんとお会い出来、大へん嬉しうございました。郷友会にもぜひ出席いたしたいと楽しみにしておりますが急にさしかえが起きてやむなく欠席いたしました。この次の機会には必ず出席したいと思っております。

田村 元子（春日・中山） ただ今、主人（克典）はシンガポールに駐在しております。

酒井 重男（柏原） まだ一度も郷友会に出席した事がないので一度同郷の方々にもお目にかかりたく思います。新座市にお住いの方はおられませんか。（趣味・ゴルフ）
係Ⅱ笹倉強さんがおられます。

山本 三郎（山南・金屋） 約二十年間家具の製造及び販売に従事しておりますが、最近では販売店の責任者ですので毎週水曜日（定休

日) 以外はどちらの会合にも出かけかねます。(趣味・囲碁、麻雀)

上嶋 一晃(氷上・本郷) 忙しい毎日ですが、がんばり抜いております。諸先輩の体験やご指導を仰ぎたいと思っております。(趣味・スポーツ)

藤原 弘行(山南) あいにくと五月中は産地出張のため、会合には残念ながら出席いたしかねます。会費だけ送らせて頂きます。皆さまによろしく。(藤原帯地店主)

森下千寿子(市島・喜多) 日頃は本会のために何かとお骨折下さっております。来年はきつと参加して、一日を郷友の皆様と過したく楽しみにしております。「山ざる」を楽しみに待たせて頂きます。(旧姓・塩見)

荻野 公三(春日・新才) 昨年から本年にかけて郡出身の方二名に会いました。氷上出身となれば京阪神と決めていた私ですが、横浜について十年すぎた今日同郷の方に会えたのはひとえに「山ざる」の大きなかけ橋があったからとなくかしくページをくっています。(戸塚山病院事務局次長)(趣味・軟式テニス)

杉岡 明美(氷上・南油良) 会誌「山ざる」毎回大変なつかしく読ませて頂いておりますが、出身氷上・南油良のように詳しくまた年令も書き添えて頂けたら昔の友だちの顔もたやすく思い浮かべるこ

とが出来て、一層なつかしさが湧くと存じますが……(趣味・コーラス・手芸・読書)

係Ⅱ出来るだけご希望に添うよう努力いたしますが、会員の皆様もお便りなどに書き添えて頂きたくお願いいたします。

足立 源治(柏原) 柏原の知人としては大変少ないのですが、名簿があればお世話願えませんか。(趣味・囲碁・麻雀)
係Ⅱ早速「山ざる」第三号を送りました。

上田 譲(春日・棚原) 先月郷里から丹波栗を送って来ました。おいしかったです。

池田 和子(山南) 私はただいま市川市立貴島小学校の教師をしております。またの機会におなつかしい丹波の方々にお目にかかれる日を楽しみにしております。

小西甚右衛門 みゆき 現在職務上東京―大阪を毎週往復しております関係上、郷友会にも欠礼続きで申し訳ありません。なお私は柏原中学、妻は柏原高女卒です。

室井 利代 二女兒の母親として毎日頑張っております。この春ささやかな家を構え移転いたしました。

足立 石蔵(春日・多田) さる十月二十九日箕面市での同窓会に出

席し、公園の秋色を満喫し、久しぶりに同期の諸君と昔を語り合いました。(二四回卒業)

足立 治(青垣・杉谷) 至極元氣です。趣味はゴルフ、カメラ、旅行、観劇、茶道、弓道など何でもやです。

相模川 流れまかせの浮世舟 沈み 沈みつ 浮きつ 沈みつ

吉岡 禎文(山南) 健康に恵まれ、日本の高速道路の第一線で活躍しております。(趣味Ⅱ古代史、考古学 読書、旅行)

植木 伍鹿(山南・和田) 当年七八才。まず健康——毎日健康保持のためつとめて出社(江戸橋の海洋産業KK)。一日七千歩を最低として歩くこと。健康第一と一歩一歩を大切に。あとをよこさず、人に迷惑のかからぬよう、身辺を整理しつつしかも長生を心がく。

山門 哲 丹波もいよいよ都市化の様相色こくなって来ている。しかし、丹波の緑の山々、清流の佐治川、篠山川、どこまでも丹波の特色は損じませんから、御安心下さい。山南町民を代表して平素のごぶさたをおわびし、各位の御健康と御多幸を祈念いたします。(山南町々長)

佐々井一晁(氷上・中野) 国立からここ八王子市鍾水多摩老人ホーム内へ移りました。空気がよくよいところです。小生は老令九十歳らしくなく、一生懸命机に向っております。御安心下さい。いづれ皆

様にもお目にかかることでしょう。郷友会の発展をお祈りします。

村上 末吉(春日・中山) 新会長のもとに明朗なムードの氷上郷友会に生れかわりつつあることを大変うれしく思います。

横山 幸三(青柏・佐治) 仕事の余暇を見てもっぱら千葉県の銚子や飯岡で小鯛釣りを楽しんでいます。

荻野 行雄(春日) 昨秋以来病床にありまして、会合にも出られません、御盛會を祈っております。(趣味・旅行・植木いぢり)

東後 一美(加西郡) 総評指導のストは国民を馬鹿にしたものと思われてなりません。真実の民主主義とはあんなものではないでしょう。いま工場のおくれをとり戻すため頑張っております。有田喜一先生がお元氣なように小生も毎日七時に電車に乗り出勤、午後七時に帰宅する元氣さです。(趣味・植木いぢり、七十才)

渡辺 泰造(氷上・朝坂) 平素のごぶさた申訳ございません。郷里のためにお力添え、どうぞよろしくお願い申し上げます。(渡辺紙工業会長)

渡辺 功(氷上・朝坂) 昨年夏に結婚、本年一月男子が出生「莊平」と名づけました。来年は三人で会合に出席させて頂き度く考えております。(趣味・ただただねむること)

笹倉 強 (西脇)

私の職業は高校(城北学園)の音楽教師ですが、他に合唱(アマチュア)の指導に専念しております。十二月十二日には日比谷公会堂でベートーベンの第九(合唱)の演奏会を開きました。合唱団員の募集をしております。歌いたい方ならどなたでも老若年令は問いません。同好の方がおられましたらご教示下さい。

計報

山下 亮氏 (氷上・成松)

かねてご芳情を頂いておりました妻易子儀四七年二月十八日病死いたしました。生前の御厚誼深謝申し上げます。

係II謹しんで御冥福をお祈り申し上げます。

人事 転勤・住所変更

泉幸夫氏 (氷上・谷村)

四七年末をもって日本国有鉄道貨物局長を退職、本年一月より財団法人鉄道弘済会理事に就任、信越支部長として新潟に赴任。左記へ仮寓さる。

新潟市中大潟町五一八、大畑マンションC、二〇三号 電〇二五二一
二八―四九〇七

なお四七年九月、長年の官舎生活から左記へ新居を構えられ、家族は従来通り。

〒272市川市中国分五ノ二一ノ一四、電話(〇四七三) 一七二一九五
八七、(趣味・ゴルフ)

田 誠氏 (柏原) 東京ステーションホテル経営の(株)日本ホテル取締役社長を昭和四六年十一月の株主総会で取締役会長に就任、ご健康で毎日東京駅二階の同会社に出社。

小谷 正雄氏 (柏原) 昨年の夏以来東京理科大学の学長に就任。学園経営に専念されている。

小中 克巳氏 (市島) 四七年四月大阪大学に転任。(前任は茨城大学) 新住居西宮市枝川町一七ノ五ノ五六浜甲子園合同宿舍

〒663電話(〇七九八) 四八―四二二六。(趣味、ゴルフ、自動車、アイススケート)

志村 勝郎氏 (柏原・屋敷) 郷里に近い和田山に二年近く勤務され、四六年四月以来農林省家畜衛生試験場北陸支場に栄転。此地は田中角栄総理の実家まで十数キロのところであり、海岸の松林の中の景色のよい土地です。

細見 穆史氏 (青垣) 昨秋、日本ペイント(株)東京支店勤務よりロンドン駐在。

余田 八郎氏 (市島) さる十月、木村化工機(株)東京支店より大阪本社に転勤。

新住所II茨木市橋の内三ノ六ノ二一

石橋 正康氏 (春日・黒井) 転勤のため倉敷市沖二五〇へ移転。足立 徹氏 (青垣) 昨年十一月、三菱商事株式会社取締役鉄鋼

第一部長より常務取締役大阪支店長に栄転され、西宮市上甲東園五ノ一ノ三八へ転居。

関東氷上郷友会の沿革

本会は明治二九年（一八八六年）十一月二日、東京神田の料亭において創立の発会式を行なったといわれる。

当時東京帝国大学の学生安藤広太郎（後の農学博士）、同田昌（後の大蔵次官）氏らの奔走によって結成、会長には旧柏原藩主織田信親子爵、副会長に田健次郎男爵（元台湾総督）が就任。会の目的は、東京における郷土出身者の親睦と友情を深めるとともに、郷里氷上郡の開発発展に寄与することにあつた。以来七十余年、幾多の曲折を経ながらも今日まで存続し得たことは、先輩各位の郷土愛のたまもので、とくに井上雅二、矢本平蔵、小谷哲、石橋治郎八氏らの功績を逸すことはできない。

昭和二八年一月二八日、東京新橋駅樓上の「日本食堂」で戦後第一回の「氷上郷友会」が開催された。百名を超える郷友が喜々として集い、戦中、戦後の飢饉と混乱、生死を生き抜いた郷友たちが、相擁して久闊を叙し、熱っぽい雰囲気であることや、ありし世代の苦闘を語る感激の大会となった。

田健次郎会長（昭和五年没）のあと久しく空席であつた会長の椅子は織田信次子爵、安藤広太郎農学博士とひきつがれたが、この歴史的な大会において石橋治郎八石橋系社長を会長に迎えた。石橋会長は以来十八年間の長期に互って郷友会発展に腐心され、昭和四六年八月、

八三歳をもつて逝去された。本会は昭和四六年十一月、つるや産業社長足立三治氏を会長に迎え、新たな発展が期待されている。

関東氷上郷友会々則

（名称）

第一条 本会は関東氷上郷友会と称する。

（目的）

第二条 本会は会員相互の親睦を図り、併せて郷土の発展に資することを目的とする。

（会 員）

第三条 本会は氷上郡出身者及び縁故者を会員とする。

（役 員）

第四条 本会に左の役員をおく。

名誉会長	一名	顧問	若干名
会 長	一名	副会長	若干名
常任理事	若干名	理 事	若干名内二名会計担当
監 事	二名		

（役員の仕事）

第五条 会長は本会を代表し会務を統轄する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは副会長の互選により一名がこれに当る。常任理事及び理事は会務を執行する。監事は会務及

び会計を監査する。顧問は会長の諮問に応じ本会の発展を促進する。

(役員を選出)

第六条 会長及び役員は総会において選出する。

顧問は理事会の推薦により委嘱する。

(役員任期)

第七条 役員任期は二年とし、重任を妨げない。

(役員報酬)

第八条 本会の役員は総て名誉職とする。

(会議)

第九条 会議は総会と理事会に分ける。

総会は毎年一回十一月に開き必要に応じ臨時総会を開催する。理事会は会長、副会長、常任理事及び理事を以て構成し、必要に応じ会長が招集して開催する。

(会費)

第十条 本会の会費は年額金一〇〇〇円とする。

別に必要に応じ理事会の決定による額を徴集することができる。

(寄附金)

第十一条 寄附金は理事会の承認により受納する。

(会計報告、会則の改正)

第十二条 本会の会計年度は毎年十月一日より翌年九月三十日迄とし、会計報告は十一月の総会において行なう。
本会則の改正は総会の議を経て決定する。

本会役員 (順序不同)

顧問 田 誠・荻野定一郎・生駒篤郎・南川政一・芦田秀雄

名誉会長 有田喜一

会長 足立三治

副会長 渡辺金三・伴仲信次・松山幸逸

監事 竹村政雄・須原 清

常任理事 上山 顯・横山幸三・永井常資・山中一郎・荻野英夫・村上末吉・前田和市・安達陽一・荻野 武・足立 正・細見

綾子・植村章子・木村つた江・小谷正巳・足立誠一・常岡

幹彦

理事 高見嘉都司・小谷正雄・田辺輝一郎・小林武治・野村利吉

・田中健治・広瀬幸太郎・林谷 集・足立 治

会費報告

四六・七年会費納入者

植木一夫・常岡 昭・林谷 集・藤尾ちゑ子・田口正男・佐々木盛雄

・野村千里・婦本一男・足立かをる・谷垣昌紀・赤松たつ・大橋威彦
 田村元子・田村克典・岡本庄太郎・上田正己・広瀬幸太郎・荻野謙一
 ・畑 義博・余田貞雄・吉岡禎文・三宅良夫・藤田干治・菊地武利・
 藤原弘行・余田 進

四四年～四七年分会費納入者

井本義一、

四七年分会費納入者

足立三治・足立誠一・植木英吉・木村つた江・大西淑恵・荻野 武・
 小林章乃・高見卓治・田辺信天・千葉淳子・樋 玲子・野村虎男・林
 田孝子・広瀬靖典・藤原岩市・井田悦子・鶴沢洋子・芦田美代・久安
 敏夫・山本清士・中川四郎・大地富美子・稲次淑子・森田節子・泉
 幸夫・高見正夫・高井 漸・菱田ふみ子・久保 豊・山中一朗・足立
 士朗・久石幸太郎・伴仲信次・安達健太郎・三浦 巖・足立 博・有
 田征郎・渡辺金三・渡辺幸子・上嶋一見・北山健太郎・木呂子恵美子
 ・山田武次郎・小野智恵子・由良八郎・沢田みさを・岩田 勇・永井
 常資・木村つた多・小中克己・小林 剛・野村修己・松下トシ・梅垣
 作太郎・菅谷松治・永井輝江・山田利江・秋元子律子・荻野英夫・佐
 藤菊子

四七・八年会費納入者

足立石蔵・足立誠一・鈴木和栄・岡原裕泰・東俊一美・生駒篤郎・荻
 野行雄・須原 清・野村利吉・野村千里・足立 正・常岡幹彦・前田
 和市

四八年会費納入者

木寺昭三・蓮井春雄・足立 治・植本章子・竹村政雄

寄付金

長富工務店殿 一〇、〇〇〇—
 能勢次郎氏 三、〇〇〇—
 中川四郎氏 一、〇〇〇—
 足立三次氏 四〇、〇〇〇—

☆

關東永上郷友会・昭和47年度会計報告

昭和46年10月1日～昭和47年9月30日理事(会計) 前田和市

収 入 の 部			支 出 の 部		
費 目	摘 要	金 額	費 目	摘 要	金 額
繰 越 金	振替貯金 現 金	196,269 7,545	総 会 費 用	46.11.7 弁当代会場費等 47.5.21 調理代会場費等	40,960 54,880
会 費 収 入	延 186名	44年度～48年度	出 版 費	山ざる3号印刷製本代	172,112
広 告 収 入	会誌山ざる3号広告料 18件				
会 費 収 入	46.11.7 総会収入 42名	28,550		総会案内状印刷	41,350
	御祝儀足立会長	8,100		" 及役員通知	12,731
	" 平岩青垣町長	5,000		山ざる発送費	24,765
	" 足立 " 町議会長	3,000	雑 費	弔電	690
	47.5.21 会費収入 35名	34,000		広告代 (丹波新聞)	10,000
	御祝儀青垣町長	3,000		書類戸棚	34,000
寄 付 金	" 春日 "	5,000		ゴム印及消耗品	5,000
	" 近藤林蔵	5,000		総会打合せ山ざる発送軽食	4,160
	長富工務店	10,000	繰 越 金	振替貯金手数料	3,182
	能勢次郎	3,000		役員会	47,130
役 員 会 々 費	46.11.18 12名 足立会長	12,000 10,000	繰 越 金	振替貯金 現 金	79,607 10,694
	合 計	540,761		合 計	540,761

關東氷上郷友会 會員名簿

昭和四十七年十二月現在 五十音順 氏名下の数字は満年齢
▽住所、電話番号、勤務先、役職など、変更の場合は必ず
ご連絡ください。会員各位のご協力をお願い申し上げます。

足立あつ子

千280 千葉市稲毛台町八一六 〇四七二一四
一三二四五 俳句

足立明子

千165 中野区松ヶ丘一〇一六 〇三八〇一〇
五四八

足立石蔵

千177 練馬区石神井町二一三五一四 〇九九
六一六七〇五 飛鳥建設 〇二六三一三一五
一庭いじり (春日町多田)

足立一郎

千180-03 東久留米市八幡町二一八八 〇四二
四一七一五三〇四、東久留米新聞社自営 盆
裁、カメラ (柏原町田路)

足立治

千229 相模原市下九沢七四五下九沢団地一七一
四一四 〇四二七三〇三三五 (榎大和
精機 〇四二七四二一六一四四、ゴルフカ
メラ、旅行、弓 (青垣町杉谷)

足立かをる

千351 朝霞市公住一一二〇四 〇四八四一
六一一八三一五、小旅行 (春日町黒井)

足立要

千211 川崎市新城二六八 〇四四一七六七一
六三〇 つるや洋装店主 スポーツ (青垣町
奥塩久)

足立勝美

千156 世田谷区桜上水三一〇一一 〇三〇二
一七三七一 郵政省 〇五〇四一四三六一 (青
垣町)

足立勲平

千251 藤沢市鶴沼藤ヶ谷一七一一四 〇四六
六一二二一六四六一 川崎建設 〇五〇六一
二八五八 (青垣町)

足立源治

千223 横浜市港北区日吉本町二二七二 囲碁、
マージャン

足立三治

千211 川崎市中原区今井南町四八〇 〇四四
一七一三二一五 つるや産業 〇四四
四一七二一六三七一 (青垣町遠坂)

足立定

千190 立川市砂川町二七八六九 〇四二五
一三六三三二一 (榎渡辺商店 〇四二三一
二二二二八八 釣、(山南町奥)

足立士朗

千188 田無市本町六一六一七 〇四二四一
六三一六四一五 (青垣町佐治)

足立静夫

千182 調布市深大寺町一〇二一九 大阪商船
三井船舶 〇四二四一 (水上町)

足立順治

千251 藤沢市藤ヶ岡二二二一六 〇四六六
一三一六一一三、詩吟、園芸 (水上町井中)

足立誠一

千113 文京区千駄木一八八三、〇八二二二
三七八 (榎三誠社長 〇二五五一二五一
ゴルフ、(青垣町佐治)

足立泰治

千164 中野区上高田一一二一九 (青垣町佐治)

足立正

千213 川崎市高津区宮崎一八一一 〇四四
四一八七一九五一〇 明治生命本社 〇二二六
一六五七九 ゴルフ、囲碁、(水上町御油)

足立玉治

千111 台東区日本堤一一二八一 〇八七二一
〇五三五 (青垣町)

足立禎次

千330 大宮市三橋六一四六一一三 〇四八六

足立 利多加	19	千221 横浜市神奈川区大口通三五 〇四五一 四二一四七一八 つるや洋装店、(青垣町神 楽)
足立 範雄		千249 逗子市桜山三一九一六 〇四六八七一 一六二七〇 つるや洋装店 〇四六八一七 一四七四八 (青垣町佐治)
足立 初枝		千196 昭島市中神一一三五、
足立 松治	63	千221 横浜市神奈川区大口通三五 〇四五一 四二一四七〇五、(青垣町)
足立 昌彦	55	千230 千葉市稲毛台町八一六 〇四七二一四 一三四二五、川鉄機械工業(株) (春日町中河 内)
足立 三義	36	千236 横浜市金沢区釜利谷町四七三〇一六 〇 四五一七七二二六三三、日本航空本社(氷 上町御油)
足立 守久		千221 横浜市神奈川区松見町一一一九一八 〇 四五一四三三二〇〇三一、装苑つるや店主 〇四五一四二一四七一八 ゴルフ (青垣 町)

足立 幸夫	29	千106 港区麻布十番二一四矢本方 〇四五一 一三九三 (青垣町中佐治)
足立 讓		千105 港区赤坂青山高樹町二二 (春日町)
足立 義雄	28	千210 川崎市幸区小向仲野町三市住一一二 ユースキン製菓(株) 〇四四一三三七五八四 (氷上町)
阿部 小太郎	50	千176 練馬区北町一一四四一一九 〇九三一 三二八〇 小林製菓(株) 読書 (氷上町谷村)
阿部 美江子		千176 練馬区北町一一四四一一九 〇九三一 三二八〇 手芸 (氷上町石生)
赤松 誠司	21	千174 板橋区清水町八六小宮山方
赤松 靖弘		千400 甲府市古府中町塔岩五五九千野重雄方 (氷上町)
赤松 たつ	80	千153 目黒区中目黒五一五一二 〇七二二 一三七〇四、(春日町)
秋元 多美子		千135 江東区猿江一一〇一二 〇六三一 五七五 華道、短歌、手芸、旅行
秋山 一男		千162 新宿区新小川町一一一三 〇二六〇一 九六二 春日建設(株)役員 〇二六四一四〇二 (春日町)
秋山 米子	60	千166 杉並区阿佐ヶ谷北二二五一二五 〇三 三九一四一三三 (春日町)
浅田 和雄	67	千171 豊島区南長崎六一二五一二 〇九五 九三三三 (氷上町)

安達 博子	千124 葛飾区お花茶屋三一一九一七 〇六〇三 一一九一五
安藤 英二	千249 逗子市逗子四一七四七 〇四六八一 七一二六二九 日本船舶機関学会 〇五〇二 一二三七一 (柏原町)
安藤 繁夫	千157 世田谷区祖師ヶ谷一四四一 〇三〇九 一五七四五 日本学校給食会 (柏原町)
安藤 秀夫	千114 北区西ヶ原三一三二一二 〇九一〇一 五七五九 日大理工学部 (柏原町石田)
安藤 道子	千176 練馬区小竹町一一五一 〇九五五一一〇〇 一四、手芸 (柏原町)
井上 和三	千156 世田谷区船橋町三〇二鈴木方 協同乳業 世田谷営業所 (春日町)
井上 巖	千285 佐倉市上志津角栄六三二一 号 花王石鹼 〇六六三一一三三一
井上 雅次	千188 田無市北原町二一一二八 東京明和商 事(株) 〇二九一一六一一
井上 敏明	千121 足立区中央本町五一一二一一、渡辺紙 工業(株) (市島町)
井垣 郁子	千188 東久留米市滝山六一一八一三〇三 〇 〇四二四一七二一五一七一
井阪 いさお	千166 杉並区松ノ木三一二五一四 〇三三一 一四〇九四 (山南町北太田)
井田 悦子	千120 足立区中川五一〇一一五 〇六〇五一 五三四〇 (市島町)

井手 梅野	千42 立川市栄町五一二一一 公住四四一 〇 〇四二五一一三五七七三〇 (春日町)
井本 義一	千184 小金井市緑町五一一九九神戸銀行社宅 一五四号 〇四二三一八三一二六七九 (柏 原町)
池上 碩郎	千176 練馬区桜台五一四五一一三 〇九九一 六一四九 第一生命住宅(株) (柏原町)
池上 亘泰	千251 藤沢市藤が岡一一三藤沢団地二一一四 〇一 〇四六六一二四一一六二三 日本鋼管 (株)鶴見造船所 〇四五一五一一一二二四一 酒、(氷上町石生)
池田 種生	千272 市川市東管野一一七一三 〇四七 三一一三四一〇二八〇 教育評論家協会理事長 読書 (山南町小新屋)
池田 和子	千272 市川市東管野一一七一三 〇四七 三一一三四一〇二八〇
生駒 篤郎	千188 保谷市東町五一一一四 〇四二四一 二一一六二六七 ゴルフ、麻雀、写真 (柏原 町)
生田 清弘	千157 世田谷区成城一一七一七 〇四一五一 八九四、新明和工業(株) 〇四五一五七一 一一一 (柏原町)
生田 正輝	千156 世田谷区船橋町四七、 〇四八三一一三三 一慶応大学法学部教授 〇四五一五一八一 (柏原町)

生原 富子	40	千165 中野区丸山町二二二一七 〇三三九 一八五四、(氷山町石生)
石井 久吉	63	千251 藤沢市辻堂一七〇三 〇三六六五一四 神奈川清和 〇四五一五一一一八三一 (柏原町)
石倉 軍二		千110 台東区入谷一四一一 〇八七二一六 〇二六 (氷上町)
石田 修三	58	千112 文京区千石二一四〇一二六 〇九四一一 五五九〇 昭和郵船 〇二一一八三四一 (美の郡吉川町)
石橋 昭彦		千145 大田区田園調布三一九一九 〇七二 一一五一七 石橋生糸 〇四五一六四一 一七一六一 (春日町)
磯 畑 弘太郎	76	千270 松戸市小金きよしヶ丘一三一二 〇 四七三二四一六四七九 (氷上町下新庄)
津 富 士 乃		千155 世田谷区北沢町二一九一 千272 市川市中国分五一二一一四 〇四七 三二七二九五八七 鉄道弘済会理事信越支部 長、〇二五二二八八四九〇七 (氷上町)
泉 睿子	50	千272 市川市中国分五一二一一四 〇四七 三二七二九五八七 茶道、手芸 (柏原町)
稲次 淑子	39	千113 文京区西片一一三六ウイラロイヤル 文京西片七〇二二 〇八一五三七九 (氷 上町稲継)
岩田 やゑの	29	千166 一杉並区高円寺南二一四一一三 〇三 二二五〇一四 手芸、洋裁 (氷上町石生)

宇野 正浩	68	千338 与野市大戸八六三 〇四八八一三一 五二九七 (東京)
鶴沢 洋子	41	千115 北区赤羽二二五一一二 〇九〇一一二 八五〇 編物 (青垣町)
上嶋 一晃	27	千158 世田谷区東玉川一三一 〇九小松荘 〇 七二九一六九二二 ブラックデッカー (ジャパン) インク 〇七〇三一六四〇一 スポーツ (氷 上町本郷)
上田 要	88	千659 芦屋市松の内町九一五 〇二二一〇八〇 六 上田短資 〇大坂二〇二二五五五一 謡 囃、(春日町棚原)
上田 正己	64	千124 葛飾区東堀切一一〇都住三〇三 〇六 〇三一五七六五、誠和商社 〇八五一六四 二〇 (柏原町田路)
上田 実	35	千221 横浜市神奈川区西寺尾町久保下一二二六 公団一三〇七 県立高浜高校 〇四六三一 二一〇四一八 詩吟 (柏原町)
上田 譲	49	千221 横浜市神奈川区上反町二一七一二 〇 〇四五二二二二一六三二 上田齒科医院 釣 (春日町棚原)
上田 吉明		千215 川崎市下麻生四五二二四 千272 市川市東管野三一七一二五 〇四七 三二一六六〇二二 (柏原町屋敷)
上村 愛子	40	千107 港区赤坂八一六一三三 〇四〇八二二〇 五一 財船員保険会 〇四〇七一六〇六一 美 術鑑賞 (柏原町大新屋)
上山 顕	68	

植木英吉	63	千167 杉並区下井草四一八八 〇三九九一 七二二 井荻駅前郵便局長 〇三九〇一九六 六〇 (山南町和田)
植木一夫		千113 文京区白山三一 〇八一 〇八一 五七三 植木紙工所 (山南町)
植木伍廉	78	千168 杉並区永福二一 〇三三二一〇 四九一 海洋産業株式会社 〇二七一 〇三二八一 開基、園芸 (山南町和田)
植木格		千167 杉並区下井草四一 〇七一 〇三三九 一六三 〇五二 東邦化成産業株式会社 〇九五三 〇二二二 ゴルフ (山南町)
植木十和子		千181 三鷹市下連雀八一五 〇四〇三 〇四二 二一四六 〇二二四
植田勝憲		千155 世田谷区代沢二一四 〇殖民塾服部礼介方 (氷上町)
植田博三	45	千125 葛飾区白鳥三一 〇九一 〇八一 千221 横浜市神奈川区白幡西町一〇〇 〇一八 〇四五一 〇四一 〇八六六一 額田製作所東京 営業所長 〇七四二 〇一四六四 (市島町)
植田章子	70	千180 武蔵野市吉祥寺本町三一 〇七一 〇一〇 〇四二二 〇二二 〇七七九七 園芸、生花、唄 (春日町船城)
臼井猛夫		千272 市川市真門四一 〇一〇 〇くるみ荘 東京 医科歯科大学医学部 (青垣町)
梅垣作太郎	87	千158 世田谷区奥沢五一三八 〇二二 〇七二二 一三二九四 謡 (山南町大河)

梅垣宏		千335 戸田市上戸田一七一三 マルサン火の見下 店 〇四八四 〇三二 〇五九二八 (柏原町)
梅津昭治		千121 足立区梅島二二 〇五二 〇二〇 渡辺紙工業 (株) (柏原町)
江間時彦		千162 新宿区市ヶ谷砂土原町三一 〇七一 〇一砂土 原住宅二一 〇一〇三 〇二六九 〇三六四 〇厚生 省大臣官房企画室
恵本みよし	45	千351 和光市南二一 〇一三二 〇二二 〇四八 四一六 〇三三八 〇一五五 (山南町前川)
遠藤妙子		千155 世田谷区代田六一 〇一一 〇一芳月寮 〇 四六八 〇二〇三八 〇日大文学部物理学教室 〇三〇二 〇一八三 〇一 (青垣町)
小川晴道		千107 港区赤坂三一 〇六一 〇一八 〇五八三一 〇一五 五三 杏林堂主人開基、写真、陶器 (山南町和田)
小田明子	40	千194 町田市本町田藤の台二一 〇二七 〇四〇二 〇四二七 〇二七 〇一八七七六 (山南町和田)
小田武次郎	53	千177 練馬区関町六一 〇四二九 〇九二九 〇二四 一二 (春日町)
小田利江	47	千177 練馬区関町六一 〇四二九 〇九二九 〇二四 一二 (柏原町)
小田晋作	28	千191 日野市高幡台団地七三 〇一五二四 日経新 聞社整理部 〇二七〇 〇一〇二五 〇一 登山ハイキ ング (柏原町)
小野智恵子	59	千150 渋谷区東四一 〇六一 〇二三 〇四〇〇 〇一三 九六 (氷上町大崎)

織田 信和	千180 武莊蔵野市境四一五〇九 〇四二二一 五一七七三一 モービル石油 (柏原町)
大石 勝郎	千152 目黒区鷹番二一九一〇二 〇七二一〇 〇七三 (柏原町)
大木 正徳	千156 世田谷区経堂一三七一〇 〇〇九六〇 ラルマンシヨン 〇四二九一 〇〇二 日立製 作所 〇四三五一 〇〇二 (山南町)
大木 道則	千177 練馬区東大泉町九五二 〇九二四一〇二 四四、東大理学部 〇八二二二 〇二一 内三四 四六 (山南町谷川)
大木 俊治	千123 足立区梅田七一六一七 〇八八七一五 三七三 開基 (氷上町本郷)
大沢 まつ子	千166 杉並区高円寺二二二二二 (山南町)
太田 守久	千173 板橋区大山三三一 〇九五六一五四一 六 (柏原町)
大地 富美子	千192 八王子市片倉町二二二二二 パーセル洋菓 子店 〇四二五一一八 〇八二四 (氷山町 朝坂)
大槻 嘉孝	千248 鎌倉市二階堂九三二 (市島町)
大西 俊治	千350 川越市の場二〇六五、〇四九二一三一 一九二八一 埼玉日産モーター(株)熊谷支店(春 日町)
大野 渥子	千182 調布市小島町四七一 〇四二四一八二 一七九三三、短歌 (山南町上滝)
大橋 威彦	千120 足立区綾瀬四一九二七 〇六〇五一〇

大 安	微	22	四三六 スワン万年筆(株)社長 〇三四一一二五 六九 ゴルフ (氷上町井中)
岡 原 裕 泰			千158 世田谷区上野毛町四一〇一四 千189 東村山市萩山町五一五八八〇四二〇 五 〇四二三一九二八七二〇 フジテレビ (柏原町)
岡 崎 正 一	23		千222 横浜市港北区太尾町五四六三上方 東京 工業大学 〇七二六一一一 (神戸市)
岡 田 一 雄	69		千176 練馬区春日町四一三三七 〇九九〇一 一三四七 庭いぢり (山南町畑内)
岡 本 憲太郎			千125 葛飾区白鳥三一九一八 〇六〇〇一 六六五 岡本化学工業(株)社長 〇六一七一一三 七七 (氷上町)
岡 本 庄太郎	37		千370 高崎市飯塚町飯玉一、五五二二二 〇 二七三一一三三三七九 インマヌエル高崎キ リスト教会 (氷上町成松)
沖 諄	83		千108 港区三田二二二二二 〇四五二一一 九九一 (柏原町)
萩 野 演 一	83		千166 杉並区阿佐ヶ谷北四一四一二 〇三三 七一一八三 (青垣町東芦田)
萩 野 一 雄			千145 大田区上池台三二二六二二 〇七二九一 四九六七 (市島町)
萩 野 完 二	68		千158 世田谷区奥沢五一三九一七 〇七二二 一六九四 開基 (山南町谷川)
萩 野 公一郎			千121 足立区谷在家町二九三都住二二〇三 渡辺紙工業(株) (春日町)

荻野謙一	110	台東区上野桜木二―三―四 〇八二一 一五二七〇 東峯商事(株)社長 (春日町)
荻野公三	36	千233 横浜市南区六ツ川四―一―五四―一九 〇四五一八三―二四五一 戸塚山谷病院 〇四五―八二一―〇七五二
荻野定一郎	78	千248 鎌倉市御成町一七―一四 〇四六七― 二二―六七四二 荻野法律事務所 〇二一― 七〇六一 読書旅行 (春日町多田)
荻野武	42	千235 横浜市磯子区汐見台三―四―三一―三九 〇四五―七六一―九〇五〇 中央建材工業(株) 〇五七―一五二二九 ゴルフ、囲碁 (市島町) 千170 豊島区北大塚二―二五―四(株)ニースタ ー内 (柏原町)
荻野哲男	70	千106 港区元麻布二―七―一三 〇四七三―一三 九〇一 中央建材工業(株) 〇五七―一五二二九 ゴルフ、囲碁 (市島町)
荻野英夫	71	千168 杉並区浜田山一―二―一 (氷上町) 千157 世田谷区砧八―一―一七 〇四一六―二 八五七 (春日町多田)
奥井広	116	千116 荒川区南千住一―二九―一六 〇八〇七― 七五四七 つるや洋装店主 (青垣町)
奥谷松治	69	千155 世田谷区代田三―五―一―一六 〇四一四 一九五六三 曉星商業短大 〇二五六五―二 一二二〇 (市島町)
音無太美子	57	千135 江東区木場六―一―一六 〇六四七―五 三九一 東京ガス深川営業所 〇六三四―二一

柿原清	70	〇一 俳句、民謡、端唄 (春日町黒井芝町) 千133 江戸川区西小岩一―二〇―一八 〇六五 七―七三六〇、(資)ニシキ社長 〇六五七―〇 九一〇 (春日町中山)
柿原武司	38	千101 千代田区三崎町三―一―〇 〇二六五―七 九二一 (株)東京スドー 〇八三四―一三二九一 スポーツ (春日町)
柿原庸	66	千180 武蔵野市吉祥寺南町四―二四―一 〇 四二―四三三―六〇〇七 日本補聴器(株) 〇二 九四―〇四三一 (春日町中山)
景山正吾	71	千156 世田谷区桜一―二〇―七 〇四二九―五 八八〇 ゴルフ (佐用郡)
梶浦浩二郎		千160 新宿区北新宿一―一八―七 〇三六八― 八〇〇七、江の島鎌倉観光(株) (揖保郡) 千121 足立区梅田町一五九五 千418-01 富士宮市北山 本門寺 (春日町)
片山日幹		千151 渋谷区代々木上原一、三〇〇千代田生命 上原寮 (柏原町)
片山尚夫		千163 中野区若宮三―二九―二 〇三三八―六 四五四 研数学館 〇二六三―一六七三一 (春 日町黒井)
片山邦夫	66	千156 世田谷区桜町一―二〇―一三 〇四二九 一六九三一
片山則昭	22	千271 松戸市松戸一―一六九中山荘 薬王寺保育 園 (春日町春日部)
勝野きしの	54	

門山 静子	千340 草加市松原団地D六二一三〇六 〇四 八九一三一九八三九 木内鳩の家幼稚園 〇 九一六一〇九四〇 (水上町成松)
門山 寿子	24 千239 横須賀市久里浜三一〇〇二一一 〇 〇四六八八四八一三二七 (水上町成松) 千121 足立区梅島二二五一一 〇 〇八八七一 七七四六 渡辺紙工業(株) (水上町)
金子 一二	千161 新宿区中落合二二四一一〇 (柏原町) 千184 小金井市本町一一六一五 〇四二三 一八一二〇五七 (水上町本郷)
亀井 純一郎	千173 板橋区弥生町一七一一三 〇九五六一〇 八八
川見 智恵子	千162 新宿区矢来町二 〇附近藤写真製版所 〇 二六〇一六二八一 (春日町)
河津 助治	千165 中野区松ヶ丘二一三一〇 〇平野方 東京 信用保証協会城北支所 〇九八七一一五四四五 (春日町朝日)
河津 省三	32 千158 世田谷区奥沢四一一二一六 〇七二〇一 六八九一 謡 (柏原)
管野 きぬゑ	63 千151 渋谷区元代々木四八一〇 〇四六〇一 五九〇六 N・H・K 〇四六八一二一一内 六二二八
木内 実喜夫	37 千184 小金井市仲町三一四一二一 〇四二 三三八三一九九一七 本荘耐酸化学(株)東京出張 所長 〇六三四一六〇二〇 (市島町上牧)
木寺 昭三	

木村 つた江	56 千182 調布市東つづけヶ丘二一三九一五 〇三 〇〇一六八九五 〇木村商事、短歌、読書、旅 行 (市島町岩戸)
木呂子 恵美子	34 千180-04 清瀬市中清戸二一七五〇一八 〇四二 四一九一三〇三三 読書、美術鑑賞 お菓子 づくり (春日町)
喜田 ゑい	千180-04 清瀬市下清戸四一六四〇 〇大林組社宅 〇 〇四二四一九一〇一九三、
菊池 顕三	79 千176 練馬区小竹町一一五七 〇九五五四五 五三 菊池齒科医院 花木盆栽 (青垣町佐治)
菊池 武利	73 千164 中野区中野五一五六一四 〇三八七〇 四五二 菊池齒科医院 (青垣町佐治)
菊池 洋子	39 千114 北区西ヶ原一一二二四 〇九一五一〇 一〇七 武荏野音楽大学講師 〇九九二一一一 二一、旅行、ゴルフ (氷山町幸世)
菊沢 貞雄	30 千155 世田谷区代沢二一一五二 (柏原町) 千343 越ヶ谷市大成町一一二三三八一六 〇 四八九八二一一八六六 市田(株)浜町支店 〇 八六二一八一 〇ゴルフ (水上町中野)
岸本 昌子	千121 足立区花畑町花畑団地一七一〇二 〇 八八四一七〇二四、
木下 五郎	72 千158 世田谷区玉川四一九一八 〇七〇〇一三 二四五 (水上町石生)
木下 年子	千180 武蔵野市八幡町四一二四一八 (岐阜)
久下 梅次	千154 世田谷区抜巻町三一二二一四 〇四二 九一六三六八 青果商 (氷上町)

久保 豊	43	千143 大田区東馬込一―三―一七 〇七七三 一三八七二 神戸銀行銀座支店次長 〇五七二 一五七八一 ゴルフ (山南町岡本)
久保田 千代	69	千153 目黒区祐天寺一―三―一二 〇七一一 〇六八六 (新瀉)
栗原 重次	62	千336 浦和市岸町二―三―一三 〇四八八 一―二―一六六二、島田特殊硝子(株)社長 〇四 三三―一六五一 (春日町国領)
小谷 寛治	61	千157 世田谷区南島山六―六―一八 〇三〇〇 〇四五七 帝京高校自動車科 麻雀、ゴルフ (柏原町古市場)
小谷 信造		千173 板橋区仲宿三九 〇九六一―八―一五九 日成商会 〇五六七―一九四一 (柏原町)
小谷 正雄	66	千143 大田区山王三―三―一四 〇七七一一六 六五二 東京理科大学学長 〇二六〇―四二七 一 旅行 (柏原町)
小谷 正己	54	千249 逗子市久木一―八―一八 〇四六八― 七―一六四四九 饅つるや洋装店社長 〇四 六八―七―一三〇七五 ゴルフ (青垣町稲土)
小寺 確郎	61	千191 日野市南平一五三三―二〇〇八 〇四二 五―九―一二九六〇 日本水産(株)代表取締役副 社長、〇二七九―三三三一 ゴルフ (青垣町 東芦田)
小寺 辰二	83	千125 葛飾区金町一―二―一二 〇六〇七― 〇四五〇 (青垣町東芦田)

小寺 忠夫		千125 葛飾区金町一―二―一二 〇六〇七― 〇四五〇 (青垣町東芦田)
小 中 克己	45	千663 西宮市枝川町一七―五―五五六 浜甲子園 合同宿舍 〇七九八―四八―四二一六 大阪 大学 〇六八―五六―一三五四、ゴルフ自動 車アイスクート (市島町)
小 西 甚右エ門		千180 武蔵野市吉祥寺東町三―二―一三
小 西 みゆき		千180 武蔵野市吉祥寺東町三―二―一三
小 林 武治	66	千180 武蔵野市境南町一―三〇―二〇 〇四 二―一三一―四七九六 国学院大学 〇四〇三 一―三三三一 短歌民謡研究 (春日町新才)
小 林 剛	51	千180 武蔵野市境五―一七―二四 〇四二二 一五二―四四二六 中央畜産会 〇五八―一六 六七六 乗馬、アイスクートゴルフ、英会話 (市島町北奥)
小 林 茂	82	千142 品川区豊町四―八―二 〇七八二―六九 九三 ヤマト電気 〇四三四―三八四八 (柏原 町北町)
小 林 章乃	77	千142 品川区豊町四―八―二 〇七八二―六九 九三 (氷上町谷村)
古 藤 一	29	千238 横須賀市衣笠栄町一―七〇 〇四六八 一五―一―二〇五 装苑つるや店主 (青垣町 佐治)
古 林 すみ乃	70	千168 杉並区宮前四―九―一三 〇三三三―九 二四七 (市島町竹田)

小山 元和	39	千135 江東区木場六―八―一 〇六四六―八五九四 (株)ささ元社長 〇六四五―〇一六五 ゴルフ (多紀郡篠山町)
近藤 林蔵	72	千162 新宿区矢来町一 〇二六八―六四五一 (株)近藤写真製版所 (春日町棚原)
近藤 敏雄	52	千133 江戸川区南小岩八―一―一六 〇六五七一六四七九 つるや洋装店 (柏原町田路)
近藤 輝雄		千143 大田区東馬込一―三―一七 神戸銀行丸の内支店 (春日町)
鴻谷 喜代治	63	千166 杉並区阿佐ヶ谷北三―三―二三 (株)日本ビゼルバ 〇二五六―六五五一 (青垣町佐治中町)
佐々井 一晁	89	千192-03 八王子市鎌水四二八多摩軽費老人ホーム (氷上町中野)
佐々井 典比吉		千222 横浜市港北区太尾町三六九 〇四五一四五―一〇一六六 神奈川県副知事 (氷上町)
佐々木 盛雄		千161 新宿区中井二―一―一八 〇九五一一二八五八 佐々木事務所 〇二〇九―三一七六 (春日町)
佐々木 守夫		千356 埼玉県入間郡福岡町大原二―四―三四 (株)東京トヨタ自動車 (青垣町)
佐藤 菊子	39	千186 国立市富士見台二―二五一 日本キリスト教会国立伝導所 〇四二五―七五―七四三九 (氷上町谷村)
斉藤 俊一	46	千173 板橋区板橋四―一三一三 〇九六三二〇〇八〇 トキワ手芸 (株) 〇八六六―三三二〇

斉藤 文子		(山南町青田) 千112 文京区大塚三―一―一 大塚女子アパート (相原町)
酒井 重男	40	千352 新座市西堀二―〇七―二二 〇四八四一七八―二四八九 オルガノ (株) 〇八二二―五五一 ゴルフ、囲碁 (柏原町)
酒井 明朗		千176 練馬区豊玉中二―二中村静香方 (山南町)
坂上 勝郎	38	千165 中野区白鷺三―五―一 〇三三九―〇八二七 ダイレクトトメルサービス (株) 千二九三一―二九六一 囲碁 (氷上町)
笹倉 強	40	千352 新座市栄四―五―二五 〇四八四―七七―五六四〇 城北高校教諭 〇九五六一―三一五七 (西脇市)
笹倉 郁子		千352 新座市栄四―五―二五 〇四八四―七七―五六四〇
笹倉 良正		千254 平塚市大島一二六六 東津ゴム厚木工場 (山南町)
沢田 みさを	40	千194 町田市玉川学園四―九―二四 〇四二七―三二―七二八二 読書 (柏原町下町)
志村 勝郎		千945-03 柏崎市松波四―三―四一 〇二五七二―二一六―一〇 農林省家畜衛生試験場北陸支場 (留守宅) 中野区南台五―二九―一三 〇三八一―五二四五 (柏原町屋敷)
塩見 つるゑ		千167 杉並区西荻南三―六―一七 〇三三四―〇四三二 (市島町徳尾)

実 保 二	80	千145 大田区北嶺町一四一一二 ㊦七二〇一六 九六二 (柏原町古市場)
篠原 よね子		千181 三鷹市中原四一八一一三 ㊦〇四二二一 四五一二九〇五 (青垣町)
柴田 勝太郎	83	千165 中野区白鷺二一五一〇 ㊦三三八一五 五四〇 庭仕事 (朝来郡)
正呂地 群治	51	千105 港区芝大門二一六一二 ㊦四三一一二 六五三 参議院自由民主党 ㊦五八一一一五三 二ゴルフ (水上町横田)
白 滝 勝 康	32	千354 入間郡富士見町鶴馬九九一一 (㊦ニユー スター ㊦九一五一一〇一一 (水上町成松)
須 原 清	61	千164 中野区南台五一一三〇一六 ㊦三八一一一 六二二 集成建設 ㊦三七四一一五一 謡 曲、ゴルフ、俳句、絵画、旅行 (市島町下竹田)
須 田 十史子		千164 中野区上高田四一九一六一五〇二 ㊦ 三八五一一三二二 (市島町鴨庄)
杉 岡 明 美	34	千153 目黒区中町二一四八一一五 ㊦七一九一 九九六九 コーラス、手芸、読書 (水上町油良)
鈴 木 和 栄	42	千177 練馬区北大泉町二六〇 ㊦九二四一七五 〇六 (柏原町石田)
勢 川 武 彦		千164 中野区東中野二一七一二〇 ㊦三六一 一八六六七 大阪商船三井船舶 囲碁 (山 南町)
瀬 々 妙 子	39	千121 足立区栗原町一五五五栗原団地四一一〇 七 ㊦八八三一七四三三 (柏原町)

荏 克 衛		千174 板橋区蓮沼町五二 ㊦九六六一五八八二 凸版印刷 ㊦ (柏原町)
園 田 寛	89	千157 世田谷区砧八一二六一一八 ㊦四一六一 一九六一 弁護士 (多紀郡丹南町)
田 口 正 男		千170 豊島区南大塚一一四六一九 ㊦ニユー ス ター社長 ㊦九一五一一〇一一 (柏原町)
田 中 健 治	71	千166 杉並区成田西三一八一三三 ㊦三九二 一三二一九 (山南町畑内)
田 辺 輝 一郎		千250 小田原市十字四一〇一六一六 ㊦〇四 六五一一二一一三九八一 東洋綿花 ㊦五〇一 一八二二 (柏原町)
田 辺 善 人	60	千157 世田谷区喜多見町八一六一六 ㊦四一 五一一九七三 東京施工 ㊦四三六一五八五 八 ゴルフ (柏原町)
田 淵 初 雄		千151 渋谷区代々木三一二横山きく方 (山 南町)
田 村 恒 俊		千187 小平市学園西町一橋寮
田 村 克 典		千180-04 清瀬市旭ヶ丘二一一一一〇八 ㊦〇 四二四一九一一八〇二六 (春日町中山)
田 村 元 子	37	千180-04 清瀬市旭ヶ丘二一一一一〇八 ㊦〇 四二四一九一一八〇二六 (春日町松森)
高 井 静	54	千167 杉並区荻窪四一一八一七 ㊦三九八一六 一七一 (水上町谷村)
高 木 幸 子		千166 杉並区成田東五一二七一四 ㊦三九八 一八六二五

高桑 良弥	66	千166 杉並区阿佐ヶ谷北二二二一八 〇三三八一七三九八 〇化学機械研究所 〇四一四一四九五三 (柏原町)
高橋 世志子		千176 練馬区早宮二二二一七 〇九三四二六二一
高松 常太郎	35	千363 桶川市東二一八一 〇四八七七一三二五三九 〇湊屋 〇六六七七七七一パレーポール (春日町黒井)
高松 薫夫		千160 新宿区四谷四一三 四谷御苑マンスン六〇六号 〇三四四一〇一九八 鶴書房 〇二六五一四七八四 (市島町)
高見 嘉都司	46	千173 板橋区熊野町四〇一一 〇九五六〇六〇〇 高見産婦人科病院 (市島町)
高見 幸男		千176 練馬区錦二一八一三 〇九三三三六七三一 (市島町)
高見 みすゑ	50	千115 北区赤羽西三一三一一二 〇九〇〇一三八五六 (市島町前山)
高見 孝男		千121 足立区竹の塚七三都住二一一〇三 渡辺紙工業 〇 (市島町)
高見 巻男		千121 足立区古千谷五一二九 渡辺紙工業 〇 (市島町)
高見 安亮	51	千177 練馬区石神井町八一五六一一 〇九九七一〇六一三 忠勇 〇九二二一〇六八九 (春日町棚原)
高柳 弘		千271 松戸市常盤平団地一一三九一一〇四 佐々木硝子横川工場 (静岡市)

武田 辰雄		千102 千代田区平河町一一五 全国器械玉糸工業組合内 〇二六二一〇九六六 (青垣町)
竹内 恵美子		千160 新宿区戸塚三一
竹林 すま子	70	千152 目黒区碑文谷四一一六一二二 〇七二二一五七〇〇 茶道 (春日町国領)
竹村 政雄		千170 豊島区北大塚一一三三一一 〇九一九一五七四〇 十字屋ストア (青垣町)
谷 達雄	61	千176 練馬区桜台六一二九一二二 〇九九六一六四五二 日本精米工業会常務理事 〇二六三一〇三一 〇ゴルフ、俳句 (柏原町)
谷 垣 正雄	66	千168 杉並区高井戸西一一二四一一七 〇三三三三六一六〇 〇水沢工務店 〇六四一一七一 〇一 〇ゴルフ、俳句 (柏原町大新屋)
谷 垣 博		千188 田無市西原町四一七一九 〇四二四一六一三〇一一 日本技術開発 〇二〇二一五二七 (柏原町)
谷 垣 尚	49	千159 渋谷区神宮前四一一八一七 〇四〇一九九六二 新日本製鉄 〇二四二一四一一 (柏原町)
谷 垣 美代子		千166 杉並区高井戸西一一二四一一七 〇三三三三六一六〇
谷川 隆治		千276 八千代市大字米本三二九一一七 渡辺紙工業 〇 (永上町)
千種 倫幸		千336 浦和市太田窪三一二二四 〇四八八一八二一九七三三 長谷川工務店 〇四六三一五四五一 (山南町)

千葉	淳子	40	千174 板橋区赤塚二一九一五 〇九三〇一六
塚口	稔	74	四一九 (山南町谷川)
塚口	一	167	八八六 (水上町油利)
塚本	良子	167	八八六 杉並区荻窪二二二一九 〇三九一四
土田	直吉	59	八八六 河合楽器製作所東京支店 (水町油利)
萬川	てる代	50	千157 世田谷区給田町五六九 (山南町)
槌	玲子	40	千142 品川区荏原三一一二一 〇七七八三
恒川	登志子	62	〇〇四 (物つるや洋装店社長 (青垣町))
土屋	タイ	78	千271 松戸市中矢切五一二 〇四七三二
常岡	文亀	73	一六五二九 (市島町竹田)
常岡	幹彦	42	千336 浦和市高砂三一七一一五 〇四八八
常岡	昭	55	一六一八七五三 (春日町大路)
			千354 富士見市鶴馬三五六七 〇四九二一五
			一三三四七
			千177 練馬区東大泉二五七 〇九二一八六八
			〇 (福知山)
			千357-02 飯能市白子三三三 〇四二九七〇三
			一五 (半自動) 画家、花つくり (柏原町上小倉)
			千357-02 飯能市白子三三三 〇四二九七〇三
			一五 (半自動) 画家、旅行、テニス (相原町上小倉)
			千154 世田谷区野沢二一三四一九 〇四一一一
			一三〇六 日本鋼管病院 〇四四一三三一五
			五九一 囲碁、尺八、ボーリング (柏原町)

角田	弘子	千270	松戸市八ッ崎六八四一五 〇四七三
田	誠	81	一四一六五三三
田	英夫	48	千151 渋谷区上原三三三三八 〇四六七四
田	浩	59	三八六 日本ホテル 取締役会長 東京ステーションホテル経営 〇二二二一五一一 (柏原町)
田	季晴	61	千156 世田谷区経堂一三七一〇 〇四二〇
田	健一	58	一六一一 参議院 〇五八一一〇〇五三 (柏原町)
田	一美	70	千151 渋谷区代々木五二四一一 〇四六六一
東郷	茂	68	〇六四一 金商又一 〇六六八五二一一 (柏原町)
東郷	司	70	千664 伊丹市主基町五五二二三 〇七二七一
土井	崇司	70	七二二四一六 三和金属工業 〇五三一六三三一
			千940 長岡市若草町一一五一二 〇二五八
			一三二四〇五七、長岡工業高等専門学校長
			〇二五八一一三二一六四三五 囲碁音楽 (柏原町)
			千156 世田谷区赤堤二一三五一一三 〇三三二一
			一八五〇、植木いちり (加西市朝妻)
			千173 板橋区双葉町一九一四 〇九六一一
			二六三 自由業、謡曲庭球柔道 (加西市)
			千273 船橋市習志野台三一五一五二二〇四
			渡辺紙工業 〇八六一二二三三一 (山南町)

土肥 多香子

富岡 貫一 82

永井 常資 59

永井 清司

永井 輝江 73

中井 薫子

中居 篤子

長尾 清三郎

長尾 貴美代

中川 四朗 90

長沢 康 64

中島 惇 67

千145 大田区久が原三―八―二 〇七五二―一六三〇 (多可郡)

千164 中野区上高田一―三六―一二 〇三八六一五六〇七 読書 (山南町谷川)

千194-01 町田市鶴川四―二五―一六 〇四二七一三五―三七六一 渡辺紙工業 〇八六一―二三三一 (柏原町下小倉)

千248 鎌倉市佐助一―一―一九 〇四六七―二二―五二五九 (山南町)

千166 杉並区松ノ木二―一〇―一二 〇三一二―二六六七 (市島町吉見上田)

千274 東葛飾郡鎌ヶ谷町初富九二八

千113 文京区駒込上富士前町一 (山南町)

千157 世田谷区砧六―二六―一五 〇四一五―三七七三 日本調度機械 〇五八五―〇四五四 (氷上町)

千157 世田谷区砧六―二六―一五 (氷山町)

千152 目黒区八雲一―八―二二 〇七七一―一八六七 (柏原町)

千184 小金井市中町四一―一六―一一 〇四二一三一―一四八六九 日進産業 〇五四二―〇三九六 ゴルフ、旅行 (氷上町石生)

千154 世田谷区下馬三―二―一三 〇四二一―四四〇三 汽車製造 〇六四七―一六八五 (青垣町)

長富 千代一 46

中野 正義 72

中野 周子 42

中村 正之 47

中村 道子

二宮 正己

西川 政一

西垣 秀正 59

西垣 秀夫

西垣 正弘

西垣 桂

千116 葉川区南千住五―九―八 〇八〇二―一七二一 (株)長富工務店社長 ゴルフ (春日町大路上三井庄)

千167 杉並区西荻南二―一―一四 〇三三三一六三八七 (山南町和田)

千181 三鷹市上連雀八―一―三六 〇四二二―一四四―七九六〇 (春日町広瀬)

千350 川越市仙波町四―一八―一六 〇四九二―二四―一三四六二、渡辺紙工業 〇八六一―二三三一 (山南町奥野々)

千350 川越市仙波町四―一八―一六 〇四九二―二四―一三四六二

千273 船橋市高根台町四―四―二〇 〇四七四―一六―一七六五〇 丸住製紙 (大阪市)

千167 杉並区善福寺二―三五―一六 〇三九〇―一三一六 日商岩井 〇五八八―二一一 (市島町)

千182 狛江市和泉三―二―一 〇四八〇―一三二五八 日本ビクター 〇專務 〇二四一―七八一 (山南町)

千233 横浜市南区六ツ川二―一五―一 防衛庁 (山南町)

千165 中野区野方二―四七―八 〇三八六一―四九〇 (山南町)

千166 杉並区松ノ木三―二五―一四 井坂方 〇三一―一四〇九四 (山南町)

西原の系	千113 文京区白山五―三二―二 〇九四一― 五一八七 (多紀郡)
西山敬次郎	千152 目黒区八雲三―三二―一 〇七七一― 一四五二 通産大臣官房 〇五〇一―一七三二 開基、マージャン (市島町)
西山貞夫	千252 藤沢市葛蒲沢九一六高橋方 〇四六二 一―二一六七五二 (市島町喜多)
能勢次郎	千280 千葉市穴川二―三―六 〇四七二―五 一―三七八二 木徳証券 〇六六六―一四八一 読書 (春日町)
野村修己	千344 春日部市武里団地五―三二―三 渡 辺紙工業 〇 (春日町)
野村虎男	千371 前橋市若宮町二―一―五 〇二七二― 三二―三三七二 関東製酪 〇二七二 一―四一―一〇五、奇術読書 (柏原町)
野村利吉	千152 目黒区柿ノ木坂一―二―九 〇七七一― 五二二七 山階鳥類研究所 〇四六一―四二五 九 (春日町野村)
野村千星	千152 目黒区柿ノ木坂一―二―九 〇七七一― 五二二七 (氷上町絹山)
野村嘉男	千276 八千代市八千代台東三―一七―一 〇 〇四七四一八二一八八〇八 渡辺紙工業 〇 八六一―三三三一 ゴルフ (春日町野村)
羽賀澄代	千340 草加市氷川町一―二七七
長谷川美世子	千154 世田谷区世田谷三―二二九五 〇四一四 一―九二五六 (柏原町)

波多洋三	千460 名古古市中区柴四―一六―二 大阪電気 暖房 〇名古屋支店内 〇五二―二五―一七 五一 開基釣 (春日町桐原)
波多道子	千112 文京区春日二―一七―二 〇八一―二 八六〇
袴塚節子	千131 墨田区京島三―二〇―五 〇六一―二 五〇三 (青垣町)
萩原庸三	千310 水戸市大工町二―七―一 〇二九二 一―二一三九二七 茨城レントゲン 〇 (横須 賀)
蓮井春雄	千166 杉並区高井戸東四―三―五 〇三三四― 七四四五―一六 いづみ屋食堂自営 (市島町岩 戸)
畑秀夫	千133 江戸川区南小岩三―九―二 (春日町)
畑義則	千101 千代田区神田神保町二―四二 〇二五社内 〇二六三一六〇五一 (春日町多利)
畑義博	千184 小金井市東町一―二―一七 〇四二三 一八一―六八六一 八光通商 〇四六四―二 七六六 (春日町多利)
畑光	千176 練馬区旭町一―二―四 〇九三〇―四 六九三 〇博報社 〇九三一―一四三一 (多 紀郡篠山町)
畑時美	千340 埼玉県南埼玉郡八汐町大曾根一九三一― 渡辺紙工業 〇 (春日町)
服部栄	千193 八王子市山田町一五三―一三五朝日ケ丘 三五―三服部良太方 〇四二六―六二一八五

林 恭平	一〇 (山南町和田)
林 谷 集	千166 杉並区和田一五〇一二七 ㈱東日本興業 〇二一一一三九五 (市島町)
林 田 孝子	千184 小金井市中町一八二二一 〇四二三一八二四六二一 囲碁 (柏原町)
伴 仲 信次	千319-17 北茨城市関本町福田一八七一 〇二九三四一六〇一八二 (柏原町)
東 田 実	千162 新宿区細工町二七 〇二六〇一四七二五 春日建設㈱社長 〇二六四一四〇一一 謡曲、ゴルフ (春日町多利)
久 石 幸太郎	千153 目黒区下目黒三三七一五 〇四九二一七四八七 ㈱精巧写真製版所 〇五五一二〇一八 (山南町下滝)
久 安 敏夫	千290 市原市辰巳台東三日本板硝子社宅B四三二二一一 将棋、マージャン (柏原町屋敷)
菱 田 ふみ子	千167 杉並区天沼三一三三八 〇三九三〇八六三、日本航空電子工業㈱ 〇四二五一一四一一一四一四 (柏原町)
広 沢 克江	千152 目黒区自由が丘一二二一四 〇七七一七 一〇六八 (氷上町谷村)
広 瀬 幸太郎	千160 新宿区戸塚町二七六 〇二〇二一三九四一 東京女子医大看護短期大学 〇三五七一四八〇一、旅行、生花 (柏原町)
	千182 調布市若葉町一三八一四 〇三三〇一五九三七 (山南町井原)

広瀬	靖典	29	千108 港区白金二一四一三七二〇都職員白金住宅 〇四四六〇四二八 向島保健所 〇六一一六二三五 (春日町松森)
婦木	一男		千252 藤沢市下土棚四六八 〇四六六四四一〇二三 洋装店自営 ゴルフ (春日町)
深尾	須磨子		千160 新宿区柏木四一九六五 〇三六一二五二三 (春日町)
福井	弘		千34 北足立郡北本町下石戸上六二九一七 〇四八五一四二一三七二五 ㈱三喜 〇六六三一九四三一 (氷上町)
藤井	朝野		千161 新宿区上落合一二九三生マンション五〇三 (山南町)
藤尾	ちゑ子	68	千165 中野区大和町四一三〇一 〇三三七一七三〇八 茶の湯手芸 (西脇市)
藤田	かね子	65	千181 三鷹市井の頭五八二七 〇四二二一四四一二一七八 (春日町)
藤田	千治	36	千184 小金井市貫井南町五一〇一三 〇四二二三八四一〇六一 オリエンタルコンクリート㈱東京支店 〇四六二二五五六一 (市島町上垣)
藤田	操子		千157 世田谷区祖師谷二一九九 〇四八二一一九四七 (春日町)
藤田	正雄	48	千214 川崎市多摩区三田一五一七五〇六 〇四四一九二七〇一七 日本育英会 〇二六九一四二六一 囲碁、ゴルフ (多可郡)

藤原岩市	64	千180 武蔵野市境南町三二二一〇一 〇四二二一三二一七四〇九、東京都防衛協会 〇二六八一三七八八 ゴルフ (多可郡)
藤原三郎	41	千213 川崎市高津区宮崎一〇三八一 宮前平ド エリシグ二〇六 〇四四一八六二二〇六八 有田喜一事務所 〇五八一一四九四三 ゴルフ (氷上町)
藤原信男	74	千155 世田谷区代田六二一三二 〇四六八一 〇九五九 (加東郡)
藤原弘行		千103 中央区日本橋通二一四 〇二七一七一七 八五 藤原常地店 (山南町)
藤平光章		千125 葛飾区白鳥三一五一一二 〇六〇二一〇 二五五 (氷上町)
藤平順一郎		千125 葛飾区白鳥三一五一一二 正利荘 (氷上町)
藤平卓三		千177 練馬区下石神井一一四二木内方 (氷上町)
藤本久一		千176 練馬区桜台二二二六 〇九九一一三八九 〇 (西脇市)
淵上綱蔵		千182 調布市小島町四〇七 〇四二四一八二 一八二九二 住友銀行 (市島町)
古川悦子	48	千180 武蔵野市境五一〇一三五 〇四二二二 一五二一二七二 (山南町谷川)
細川宗伸	64	千235 横浜市磯子区洋光台二一一二四〇四 〇四五一七七二二七六五七 (山南町下滝)

細見綾子	65	千180 武蔵野市境南町五一八一七 〇四二二一 一三一五九五五 俳誌「風」主宰 (青垣町東 芦田)
細見穆史	41	千158 世田谷区等々力二二八一三 〇七〇二 一九六二三、在ロンドン (青垣町)
細見才次	75	千194-01 町田市熊谷町七五五 〇三五一二〇七五 囲碁 (春日町三井庄)
細見礼子		千273 船橋市海神四一八一一〇 (春日町)
堀川萬次	76	千104 中央区晴海団地四一五〇五 〇五三一 二五一 (柏原町上中町)
本庄道生		千271 松戸市常盤平双葉町二〇一三ユニチカ松 戸第一社宅
真川薫子		千107 港区赤坂青山南町五十五 〇四〇八一四 〇八六 (山南町)
前田和市	42	千182 狛江市和泉一、三〇〇一九 〇四八九 一八二三八 永愛友商事(株)社長 〇五八五〇 七四〇 ゴルフ (山南町草部)
前田照美		千182 狛江市和泉一三〇〇一九 〇四八九一 八二三八
前田貞夫		千176 練馬区豊玉北一一一守矢方 淵上法律 事務所 〇二二一五五五五 (山南町)
前田護		千106 港区麻布十番二一四矢本方
増田憲夫		千157 世田谷区烏山町八六七 府中市立第三中 学校 (氷上町)
松下トシ	41	千188 田無市芝久保町三二六一一四 〇四 二四一六一一五七〇〇 旅行、手芸 (山南町)

松本源吉 73

千166 杉並区高円寺南三―三四―二 〇三二一四
一八八二 台湾協会常務理事 〇二〇〇一八

一六 旅行 (柏原町)

松本金吉 65

千192-02 多摩市連光寺二二一七 〇四二二一七
四一三六八八 〇三三立 ハイキング、謡曲(柏原町)

松本一也

千259-11 伊勢原市高森一八一二九〇 日本軽種馬
登録協会 〇四二五一七七九 (柏原町上中町)

松本雅子

千259-11 伊勢原市高森一八一二九〇 〇四六三
一九四一三六三五 (市島町南)

松山幸逸 71

千171 豊島区西池袋四一八八 〇九七一五
七四三、東京協栄社 〇五八二七三五一内五
一九二 囲碁、俳句、読書 (春日町東中)

松山康裕 21

千176 練馬区上石神井一三三七三九紅莊学習院
大学 (春日町東中)

三浦成夫 52

千164 中野区中野一四一四 〇三六六一
四五〇九 十条製紙(株) 〇二一七三二一
(春日町多利)

三浦巖

千156 世田谷区大原一―二八―七 〇四六六一
三八二六 画家 (春日町)

三浦せつ

千244 横浜市戸塚区汲沢町一九七七 〇四四五
一八八一六〇六一

三崎復造

千158 世田谷区玉川上野毛町二八五 〇七〇一
一三三三〇 (柏原町)

三宅博

千145 大田区南久ヶ原二―三―一 四桜荘 〇
七五八―二六三八 スズヤ洋装店 〇七三二一
四七九八 (春日町棚原)

三宅良夫 37

千145 大田区田園調布南二―九 〇七五七一
八二七 〇興水タイヤ商会 〇四四一―三三
六三二一 ゴルフ、マジシャン (春日町棚原)

光山秀子 67

千113 文京区本郷四―二―五 〇八二―一四
五九 (氷上町石生)

宮城あい 54

千221 横浜市神奈川区六角橋二―七―八 〇
四五―四八―一七六〇九 (山南町谷川)

務川貴世子

千176 練馬区中村町二―二五 〇九九一―六八
二八 (氷上町)

村岡卓 51

千184 小金井市緑町五―一―二 〇四二
三一八―一三九八九 〇千代田組 〇五〇三一
八二一 (山南町太田)

村上栄宏

千246 横浜市瀬谷区阿久和田四四六六阿久和団
地四三四 (山南町)

村上末吉

千164 中野区東中野一―二―五 〇三六九一
八三四 〇桂工務店社長 〇三七一―七三〇〇
(春日町中山)

村上大憲 69

千143 大田区池上七―三―二 〇七五七一
二〇三五 曹禅寺住職 〇碁、作詩 (氷上町
幸世)

村上豊 69

千144 大田区蒲田五―一―八 〇七三二―四
七九八 〇スズヤ洋装店社長 (青垣町遠坂)

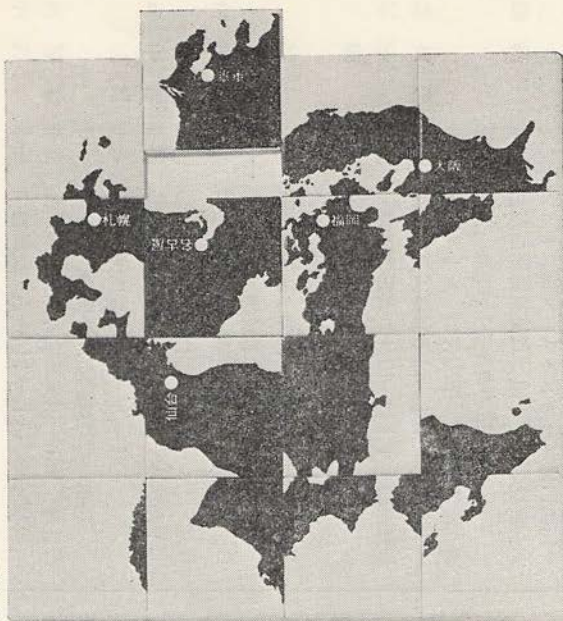
室井利代	35	千 270-01 我孫子市青山台四一四一三 〇四 七一一八二七四三一 観劇 (市島町)
最上次郎	66	千182 調布市西つじヶ丘二二五一九 〇三 〇〇一五八二一 冲電機工業 〇五〇一三 一一一 (美の郡)
百木正孝	47	千166 杉並区堀ノ内一八一三一〇〇八 〇 三一一〇四〇三 安宅産業 〇二二七一 六四〇 ゴルフ (市島町上牧)
森下千寿子	41	千177 練馬区南大泉二七九 〇九三二一五七三 五 読書、釣 (市島町喜多)
森田節子		千275 習志野市津田沼一三一三八 〇四七 四一七五一六四〇九
森田まさ子	54	千166 杉並区高円寺南三一四一六 〇三一 一一〇三三七 (氷上町成松)
森谷公一郎	34	千197 秋川市二宮一二五〇 〇四二五一一 一〇二六〇 郵政省 〇二七〇一一二二一 (山 南町谷川)
矢本博一		千106 港区麻布十番二一四 (柏原町)
保井寿恵子	68	千168 杉並区高井戸東二一〇一五 〇三三 三一八七〇五
安田功		千154 世田谷区世田谷四一二一八 九三証券 (株) 〇二七二一五二二一 (春日町)
安間喜代子		千158 世田谷区奥沢六二二九一六 〇七〇二一 七〇四〇 (柏原町)
柳田保子		千130 墨田区東駒形三一六一〇太田方 〇 六二二一三九九一 (春日町)

山口隆		千177 練馬区下石神井一一二四 〇九九七一 八七一 平凡社 〇二六二一九八一 (春日 町)
山口邦江		千113 文京区駒込上富士前七三 明治乳業販売 店 (春日町)
山中一朗	62	千227 横浜市緑区美しが丘三一四六一一 タ イガー計算器 〇五三五一四八四八 (青垣 町遠坂)
山中学		千144 大田区萩中三一四一一 荏原インフィ ル (山南町)
山本秀雄		千211 川崎市中原区北加瀬二七四 つるや産業 (株) 〇四四一七二二六三七一 (青垣町)
山本清士	48	千158 世田谷区深沢六一一五一五 〇七〇二 一四〇〇八 (株)白樺 〇七〇〇一三二二一 ゴ ルフ、盆栽 (春日町小多利)
山本徳治	73	千335 蔵市雨町二一三〇一〇 〇四八四一 四一一二七一三 読書、盆栽 (柏原町)
山本忠		千233 横浜市港南区大久保町三〇九一八 〇 四五一八四二一八六〇九 つるや洋装店主 〇 〇四五一八四二一七三四〇 (青垣町)
山本三郎	54	千124 葛飾区宝町二二二三一六 〇六九三一 五〇〇一 宝産業 〇 囲碁、マジシャン (山南 町金屋)
由良八郎		千273 船橋市三山町六九二 〇四七四一七二 一四三九五 サン商事 〇

余田喜重	67	千181 三鷹市新川四二二二 〇四二二二 一四四一四一五六 柳町研究所 〇七一四一九 二九一 (市島町中竹田)
余田士郎		千181 三鷹市新川四二二二 (市島町)
余田貞雄	49	千558 大阪市住吉区帝塚山東三三四 〇六七 三一七九九八 丹但人社 (市島町久良部)
余田進	36	千157 世田谷区祖師ヶ谷三六一〇
余田汎子	55	千107 港区南青山二一三一三 〇四〇一一 一二七〇 (春日町国領)
横山幸三	64	千133 江戸川区中央二一三四一六 〇六五五一 三九九一 横山忠産業 釣 (青垣町佐治)
横山祝		千133 江戸川区南小岩七三三三三 〇六五七 一六〇六六 (青垣町)
横田悟		千280 千葉市村田町八九三一二一一 (山南町)
横田洋子		千280 千葉市村田町八九三一二一一 (山南町)
吉岡禎文	64	千227 横浜市緑区千草台二二三 〇四五一 九八一三九一九 日本道路会 古代史、考 古学、読書、旅行 (山南町和田)
吉住重造		千213 川崎市高津区宮崎八三一 〇四四一八 六一三六二一 ㈱ノーブルスター 〇二五三一 三四九三 (春日町)
吉住政子		千213 川崎市高津区宮崎八三一 〇四四一八 六一三六二一 (春日町)
吉田明生		千140 品川区南品川二一一六 〇四七一八 二〇四 明友産業 〇 (市島町)

吉竹貞治	74	千121 足立区竹の塚四一三一七二二〇四 八八四一〇六八五 (柏原町下小倉)
吉竹きぬ		千121 足立区竹の塚四一三一七二二〇四 八八四一〇六八五
渡辺泰三	84	千176 兵庫県氷上郡氷上町朝坂 669-35
渡辺金三	65	千176 練馬区桜台二一九 〇九九一〇五三 渡辺紙工業 〇社長 (氷上町朝坂)
渡辺幸子	61	千176 練馬区桜台二一九 〇九九一〇五三 五 (氷上町朝坂)
渡辺勉	50	千180 武蔵野市吉祥寺東町二一三五一一八 〇四二二二二四九一一 (氷上町朝坂)
渡辺久子	45	千180 武蔵野市吉祥寺東町二一三五一一八 (氷 上町石生)
渡辺隆男	44	千167 杉並区宮前四一九二九 〇三三四一八 三八一 ㈱二玄社社長 〇二六三一六〇五一 (氷山町朝坂)
渡辺貴美子	40	千167 杉並区宮前四一九二九 〇三三四一八 三八一 (山南町)
渡辺圭造	38	千192 八王子市富士見町三二一四 〇四二六 一四二一四八七四 ㈱パーゼル洋菓子店社長 〇四二五一一八一一〇八二四 (氷上町朝坂)
渡辺功	31	千145 大田区田園調布二一三一五比谷方 〇七 二二一二四七五 トムソンCSF 〇二六四一 六三四一 (氷上町朝坂)

にっぽん再開発



●提供テレビ番組東京12チャンネル「全曜スペシャル」……………金曜日PM 9:00
 ●提供ラジオ番組日本短波放送「世界経済ダイヤル」……………毎日PM 8:15
 8:30 9:56



日商岩井株式会社
 社長 辻良雄
 相談役 西川政一

GNPからGNWへ。日本はいま
 大きな転換期に立っています。

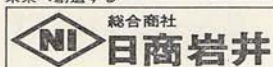
そして山積する問題をかかえて
 います。公害対策・住宅などの
 環境整備、地域開発、都市再開発
 流通機構対策……

総合商社Ⅱ日商岩井は、これら
 プロジェクトに積極的に取り組み
 そのスケールの大きい組織力、
 総合力を発揮。オルガナイザー
 デイベロッパーとして、日本の
 課題にもダイナミックに应运
 います。

東京本社 三月中旬より左記へ移転します

〒107 東京都港区赤坂二丁目四番五号
 代表電話 (03) 五八八二二二一 番

未来へ創造する



貿易界のエグゼクティブ・マンスリー

月刊〈トレードピア〉(日商岩井・発行)好評発売中/郵便振替口座番号 東京:162656

1級建築士事務所

桂建築総合研究所

ビル建築の設計・監理

事務所建築・賃貸ビル・商業ビル・都市再開発にともなう新築ビル・アパート・マンション・住宅…等の新築ビル
経済性を尊重した優美な設計

株式会社 桂 工 務 店

店舗の内装設計・施工

住宅の新築・改造・増設施工・都市美観工事にともなう街路・オーニング・看板・電飾看板等の設計・施工
システム化された近代経営

株式会社 商店建築社

商業建築・建築関係図書出版・月刊誌
商店建築・TAU発行・名作シリーズ・単行本写真シリーズ…等多数発行

春日町中山出身 村上末吉

住所 東京都中野区東中野1-2-5 TEL 369-1834

衆議院議員

有田 喜一

衆議院第一議員会館

電話(五二)五一(代) 内線三八二番

直通(五八二) 四九四三番

東京都世田谷区成城四ノ一ノ一五

電話(四八三) 一二〇九番

兵庫県氷上郡氷上町谷村

電話〇七九五八(二) 〇〇〇八番

日本バレーボール協会会長
アジアバレーボール連盟名誉会長
国際バレーボール連盟副会長
日商岩井株式会社相談役

西川 政一

東京都杉並区善福寺二ノ三五ノ一六
電話(三九〇) 一三一六番

東部及東京都防衛協会理事長
社団法人国民外交協会理事
日本郷友聯盟常務理事
全国戦友連合会副会長
救世専門学院教授
日本・パングラデッシュ協会理事

藤原岩市

自宅・〒 180
東京都武蔵野市境南町 3 丁目 23-11
電話 (0422) 31-7 4 0 9 番

デラックスムードの

ホテル 春日

京成谷津駅前 (谷津遊園入口)
八弘産業株式会社
代表取締役 長富千代一

千葉県習志野市谷津町 2 丁目 332-3号
電話 0 4 7 4 (75) 7 4 7 1 番

電子器機部品専門商社

株 式 会 社 三 誠

取締役社長 足 立 誠 一

東京都千代田区外神田 3—2—13

電 話 (255) 1 2 5 1 番 (代表)

綜 合 建 設 業

東京都知事登録第 3 号

春 日 建 設 株 式 会 社

代表取締役 伴 仲 信 次
(春日部出身)

東京都千代田区飯田橋 2 丁目 9 番 3 号

電 話 東 京 (264) 4 0 1 1 番 (代表)

株式会社 近藤写真製版所

取締役会長 近 藤 林 蔵

取締役社長 近 藤 勇 夫

(国領出身)

東京都新宿区下宮比町8番地

電 話 (260) 6 2 8 1 番 (代表)

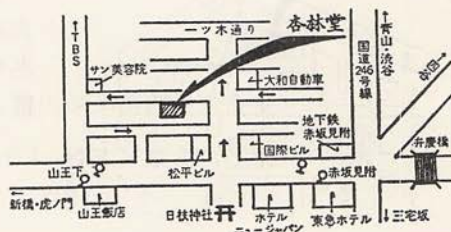
古典医学・脈診研究

鍼専門治療 杏 林 堂

小 川 晴 通

東京都港区赤坂 3—6—18 電話 (583) 1553 番

診療時間の受付は前以て
電話にてお約束します



建築材料販売工事

建設大臣登録(≡)第6289号

中央建材工業株式会社

取締役会長 荻野英夫

東京営業所長 荻野武

本社 名古屋市千種区若水町3-26

電話 052 (761) 6181 番(代表)

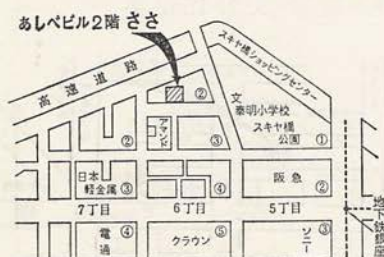
営業所 東京都中央区銀座7丁目10-5

電話 03 (571) 5229 番(代表)

関西風山菜料理

さ さ

小山元和(篠山出身)



東京都中央区銀座6-2-7

あしべビル2階

電話 (571) 4423 番

芦 田 秀 雄

東京都杉並区下井草四丁目二一三
電話(三九〇)二一八六六番

三菱商事株式会社

大阪支社長
常務取締役

足 立 徹

992
電話 西宮市上甲東園五一―三三八
〇七九八・五一―三九九五

明治生命保険相互会社

本社 東京営業センター

足 立 正

東京都千代田区丸の内二丁目一番一
大代表 電話(二二〇)内線二八三九番
直通六五七九・九五一九番

植木紙工所

代表者

植 木 一 夫

東京都文京区白山三丁目一―十三
電話(八一―)八五七三番

荻 野 定 一 郎

事務所

東京都千代田区丸の内二ノ二

(丸ビル六階六五区)

電話(二二―)七〇六一―三番

自宅

鎌倉市御成町十七―十四
電話〇四六七―二一六七四二番

木 村 つ た 江

調布市東つつじヶ丘二ノ三九ノ五
電話東京(二三〇〇)六八九五番

日本水産株式会社

代表取締役
副社長

小寺 確郎

(自宅)

日野市南平一五三三—二〇八
電話〇四二五(九二)二九六〇番

日本学士院会員
東京理科大学学長

理学博士

小谷 正雄

東京都新宿区神楽坂一ノ三
電話東京(二六〇)四二七一
東京都大田区山王三ノ三六ノ四
代表
自宅
電話東京(七七二)六六五二

株式会社つるや洋装店

取締役社長

小谷 正己

逗子市逗子一ノ六ノ四
電話〇四六八(七二)三〇七五・六四四九

須原 清

東京都中野区南台五の三〇の六
電話(三八二)一六二一 番

高見産婦人科

医学博士

高見嘉都司

東京都板橋区熊野町四〇番地
電話(九五六)〇六〇〇 番

谷垣 正雄

東京都杉並区高井戸西一—二四—七
電話(三三三)六一六〇 番

日本ホテル株式会社

(東京ステーションホテル経営)

取締役会長

田

誠

東京都千代田区丸の内一丁目九ノ一
東京駅二階東京ステーションホテル
電話東京(21) 二五一一番代表

日本ビクター株式会社

専務取締役

西垣秀正

東京都中央区日本橋本町四丁目一番地ノ一
電話東京(〇三) (24) 七八二一(大代表)

松山幸逸

連絡先
東京都港区赤坂TBS会館内・協栄社
電話(五八二) 七三五一内線五二九二
東京都豊島区西池袋四ノ八ノ八
電話(九七二) 五七四三番

曹 禪 寺 住 職

村上大憲

東京都大田区池上七丁目二番十号
電話 〇三―七五一―二〇三五番

横山産業株式会社

取締役社長

横山幸三

東京都江戸川区中央二―三〇四―六
電話(六五五) 三九九一 代表

ノーブル印・スター印製造発売元

事務服・制服・作業服・繊維産業資材

園児服・園児用品・金属遊具・形象遊具

ノーブルスター株式会社

取締役社長

吉住重造

本社 東京都千代田神田須田町一ノ十一
電話 〇三(二五三) 三四九三(代表) 五番

がき あと

「山ざる」第四号をお届けする。本誌をご一覽されればおわかりのように、多彩な顔ぶれが並んでいる▼たしかに三号と比べても、充実している」と認めて頂けると、いささか編集子も喜んで

いるが、ご評価を頂きたい▼今年初の役員会で、年一回の発行では物足らぬから二回発行はやれないか、との提案があった。編集子もぜひそうありたい、と思うが、一番の心配は製作費の点である▼年一回の発行だから、協賛広告も気持よくしてもらっているが、二回となると如何であろうか、この一回だけでも製作実費、つまり印刷代も足りない始末、加えて郵送費も馬鹿にならない▼寄稿、広告依頼等のいわゆる取材費はいまはやりのボランティアで手弁当である。あれこれ考えると慎重にならざるを得ない。でも本誌の使命を考えると、少なくとも年二回ぐらい出すべきだし、出したいと思う。会員各位のご意見をぜひともお聞きたい。▼ご意見がどしどし寄せられることは本会の発展には絶対必要な条件で、ナシのつづてでは本会運営の方針も立て難い。思いついたら、ハガキでも電話でも

結構ですから、どうかどしどしお願いしたい。▼ところで本号もまた二支社の渡辺隆男社長を煩わして制作関係のお世話になった。記して厚くお礼を申しのべる次第。

▼筆おけば灯油すでに尽きしまま(竹水記)

☆

ご投稿を歓迎します

随想・随感、身辺雑記、ご意見やご提案、ニュース、お便り写真など、どんなものでも結構です。郷友会の交流を暖めるために、ぜひお気軽な皆様のご投稿を、お待ちしております。書式も文体も、締切り日も特に定めませんので、折にふれて事務所宛ご投函いただければ幸いです。なお次号の発行は四九年三月初旬の予定で締切りは本年十二月十五日です。

(松山)

山ざる 第四号

昭和四八年三月二五日印刷
昭和四八年三月三一日発行
編集委員

松山幸逸 足立 正
荻野 武 常岡幹彦
渡辺隆男

発行所

関東氷上郷友会

東京都千代田区飯田橋二丁目九番三号
春日建設株式会社内
TEL東京〇三(264)四〇二一番(代)
振替貯金番号 東京 一三三三三〇番
製作 株式会社 二支社

画期的！経費処分の出来る 大型経営者保険誕生

わずかな掛金で**500万円**から**1億円**まで

日本で始めて**A I U**と**大同生命**が提携

- 非常に安い掛金で、しかも全額経費処分が出来ます。
- 一度の診査で、10年契約。65才まで加入出来ます。
- 掛捨てですから通貨不安、物価変動に強い新時代の保険です。
- 経営者に病氣・災害・天災の事故のあった時、企業をがっちり守ります。
- その家族にも高額な退職慰労金が保償されます。
- 役員の任期も考えると、この保険は理想的な保険です。

この企業にとって理想的な経営者保険は法人会の大きな協力によって誕生しました。従って加入資格は法人会の会員に限られております。未加入の企業の方は法人会とこのすばらしい保険に同時にご加入下さい。詳細につきましては、ご連絡を載き次第説明にお伺い致します。

ご説明に伺いました際は粗品を進呈させていただきます。

一例

35才加入

病氣死亡 2,000万円

災害死亡 4,000万円

傷害時

日額補償 1日/2,000円

医療費用 20万円

保険料月額

7,773円

A I U総合代理店
大同生命代理店

永愛友商事(株)

〒107 東京都港区赤坂3-1-2 A I U赤坂ビル

TEL 03 (585) 0740代

GRUE BONNE

高級婦人服製造卸

つるや産業株式会社

取締役社長 足立三治

本社 川崎市新丸子701番地
電話 (044) 72局6371 (代表)
社長室直通 72局3212

東京店 品川区西五反田7-22-17番地
東京卸売りセンター12階
電話 (03) 494局3285~7番

青山研究室 港区南青山5-10-7篠原ビル2F
電話 (03) 406局0723, 0770

創業 昭和9年

主なる取引先

- (株)東急百貨店 (本店, 東横店, 日本橋店)
(株)伊勢丹 (本店, 立川店, 八王子店, 吉祥寺店)
(株)大丸 (東京店, 町田店, 大阪店, 神戸店, 京都店)
(株)西武百貨店 (本店, 渋谷店) (株)松屋 (本店, 横浜店)
(株)野沢屋 (株)小美屋 (株)丸井 (株)横浜岡田屋
(株)横浜高島屋 (株)川崎さいかや (株)阪急百貨店